令和７年度
千葉市スマートシティの推進に係る市民アンケート

調査報告書

令和８年 10 月

千葉市

目次

1. 調査の概要 1

(1) 調査の目的 2
(2) 調査実施概要 2
(3) 回収状況・回答者の属性 3
(4) 本報告書を見る際の注意点 3

2. 調査結果の詳細 5

(1)「スマートシティ」の認識と期待する分野について 6
(2) インターネット・情報通信機器の利用状況について 8
(3) ICT（情報通信技術）の普及による、現在の生活への影響について 14
(4) 千葉市の魅力について 24
(5)「パーソナルデータ」の活用について 29
(6) 働き方について 30
(7) スマートシティを実現することの必要性について 34

3. 参考資料　調査票 35

1.　調査の概要

（1）調査の目的

スマートシティの推進により市民生活の質の向上を図り、地域とともに持続可能なまちづくりを進めるにあたり、本市の現状等を把握するために実施した。

（2）調査実施概要

① 実施期間：令和 7 年 11 月 1 日（土）～11 月 30 日（日）

② 調査対象：令和 7 年 9 月末時点の住民基本台帳から無作為に抽出した、市内に在住する満 15 歳以上の市民 3,000 人を対象。

③ 調査方法：郵送配布、郵送またはインターネット（WEB）にて回収。

④ 調査委託先：株式会社グリーンエコ

⑤ 調査内容：

1.「スマートシティ」の認識と期待する分野について　（2 問）
- 問 1　「スマートシティ」という言葉の認知
- 問 2　スマートシティに関して期待する分野

2. インターネット・情報通信機器の利用状況について　（4 問）
- 問 3　過去 1 年間におけるインターネットの利用有無
- 問 4　保有している情報通信機器とその使用頻度
- 問 5　利用したインターネットの機能・サービス
- 問 6　インターネットを利用しない理由

3. ICT（情報通信技術）の普及による、現在の生活への影響について（6 問）
- 問 7　ICT（情報通信技術）の普及による、現在の生活への影響についての意識
- 問 8　オンライン学習の導入による学習環境への影響
- 問 9　ICT（情報通信技術）などのテクノロジーを活用した、環境保全に関する取り組み状況
- 問 10　千葉市からの防犯・防災に関する情報の取得方法
- 問 11　千葉市からの防犯・防災に関する情報の満足度
- 問 12　千葉市で実施しているオンラインサービスの認知・利用状況

4. 千葉市の魅力について　（3 問）
- 問 13　千葉市の魅力に関する情報の取得方法
- 問 14　千葉市の魅力に関する千葉市や千葉市以外からの情報発信に対する満足度
- 問 15　千葉市の魅力を人に伝えた経験

5.「パーソナルデータ」の活用について　（1 問）
- 問 16　自治体や民間事業者等がパーソナルデータを活用することに対する意識

6. 働き方について　（3 問）
- 問 17　現在の職業
- 問 18　過去 1 年間におけるテレワーク経験
- 問 19　テレワークの導入による労働環境への影響

7. スマートシティを実現することの必要性について　（1 問）
- 問 20　スマートシティを実現することの必要性

（3）回収状況・回答者の属性

① **回収数：** **987 件**（郵送回答 521 件（52.8%（△11.7%）、△38 件）、WEB 回答 466 件（47.2%（+11.7%）、＋159 件）

【令和 3 年度調査時：866 件［郵送回答 559 件（64.5%）、WEB 回答 307 件（35.5%）】

② **回収率：** **32.9%**【令和 3 年度調査時：28.9%】

③ **回答者の属性**（居住区・年代別の内訳）

1 段目　度数 2 段目　横%		10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代	90 代	無回答
全体（計）	987	40	76	92	136	187	173	166	100	4	13
	100.0%	4.1%	7.7%	9.3%	13.8%	18.9%	17.5%	16.8%	10.1%	0.4%	1.3%
中央区	229	9	30	28	37	39	40	26	16	1	3
	100.0%	3.9%	13.1%	12.2%	16.2%	17.0%	17.5%	11.4%	7.0%	0.4%	1.3%
花見川区	176	10	7	14	26	36	32	31	17	2	1
	100.0%	5.7%	4.0%	8.0%	14.8%	20.5%	18.2%	17.6%	9.7%	1.1%	0.6%
稲毛区	152	5	10	18	16	25	23	37	16	0	2
	100.0%	3.3%	6.6%	11.8%	10.5%	16.4%	15.1%	24.3%	10.5%	0.0%	1.3%
若葉区	145	6	7	12	16	25	26	30	20	1	2
	100.0%	4.1%	4.8%	8.3%	11.0%	17.2%	17.9%	20.7%	13.8%	0.7%	1.4%
緑区	128	7	13	11	18	25	23	15	13	0	3
	100.0%	5.5%	10.2%	8.6%	14.1%	19.5%	18.0%	11.7%	10.2%	0.0%	2.3%
美浜区	157	3	9	9	23	37	29	27	18	0	2
	100.0%	1.9%	5.7%	5.7%	14.6%	23.6%	18.5%	17.2%	11.5%	0.0%	1.3%

① 回答者の属性（職業）

1 段目　度数 2 段目　横%		正規の職員・従業員	契約社員、派遣社員、期間従業員	アルバイト・パート	自営業主・自由業	家族従業者	主婦・主夫	学生	無職	その他	無回答
全体（計）	987	320	72	145	47	6	125	53	189	14	16
	100.0%	32.4%	7.3%	14.7%	4.8%	0.6%	12.7%	5.4%	19.1%	1.4%	1.6%

（4）本報告書を見る際の注意点

【回答数（母数）等について】

図表に使われる「n=」は、各設問に対する回答数（母数）である。また図表で表示する「全体」は、その設問の集計対象となる回答者すべてをまとめた結果であり、単純集計値を表している。

【百分率（%）の計算について】

小数点以下第 2 位を四捨五入した数値を表示している。複数回答の設問における百分率（%）は、回答数（「n=」で示す母数）に占める回答割合のため、合計しても 100%とならない場合がある。また、単数回答の設問においても、端数処理により、回答割合を合計しても 100%にならない場合がある。

【尺度法による選択肢の合計値について】

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」のような尺度法による選択肢設定となっている設問の一部について、端的に傾向を把握しやすくするため、各グラフの右隣に選択肢の合計値を示している。ただし、無回答分は対象外としているため、総計は 100%とならない場合がある。また、前出の「百分率（%）の計算について」に示す通り、四捨五入することによって、計算対象となっている選択肢のグラフ中に表示されている数値の合計と一致しない場合がある。

※「あてはまる（計）」…「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計
「あてはまらない（計）」…「あてはまらない」「どちらかといえばあてはまらない」の合計

※「満足している（計）」…「満足している」「どちらかといえば満足している」の合計
「満足していない（計）」…「満足していない」「どちらかといえば満足していない」の合計

【クロス集計の実施について】

本報告書に掲載する図表およびグラフは、前出の単純集計値を基本として掲載している。また、回答者の属性（年代など）や設問同士のクロス集計を行い、分析の結果何らかの傾向が見られた設問については図表・グラフとともにコメントを掲載している。

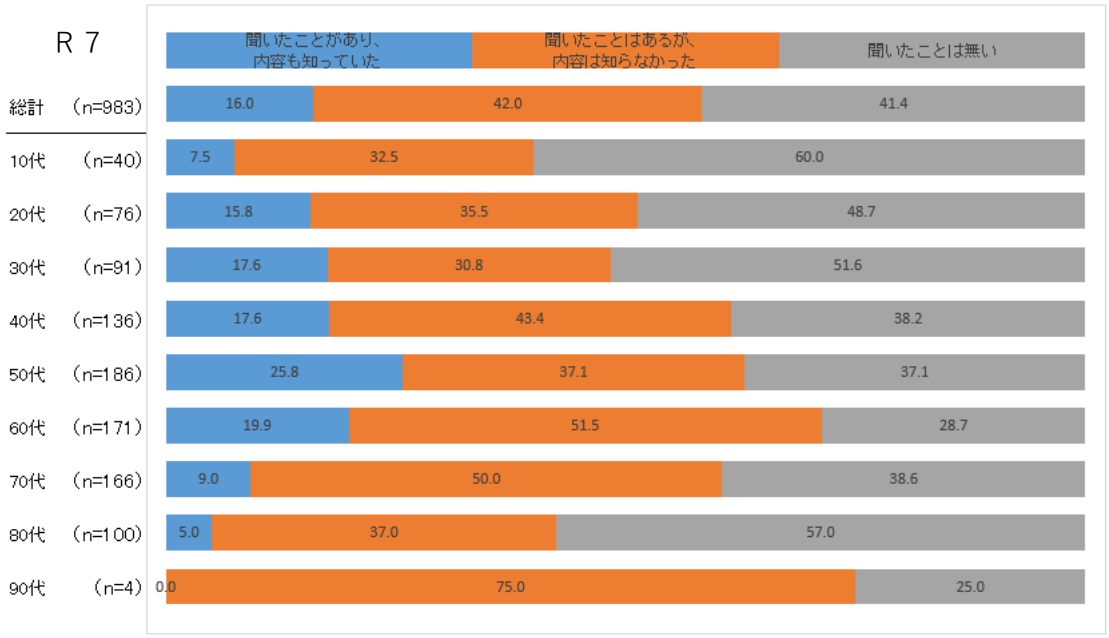
2.　調査結果の詳細

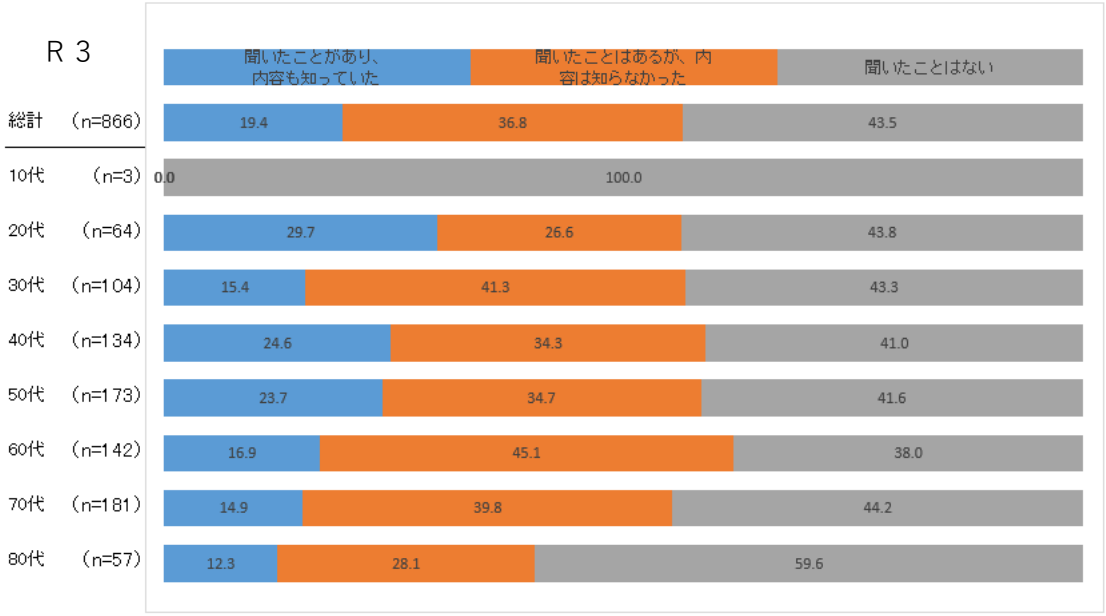
（1）「スマートシティ」の認識と期待する分野について

問１　あなたはスマートシティという言葉を聞いたことがありますか。（単一回答）

令和７年度調査においては、「聞いたことはあるが、内容は知らなかった」が 42%、「聞いたことがあり、内容も知っていた」が 16%となっている。令和３年度調査時に比べて、今回は 20 代、30 代の認知度がやや下がった一方、50 代、60 代の認知度は上がっており、全体として、「スマートシティという言葉を聞いたことがある」との回答割合は、わずかに上昇した。

図１　「スマートシティ」という言葉の認知

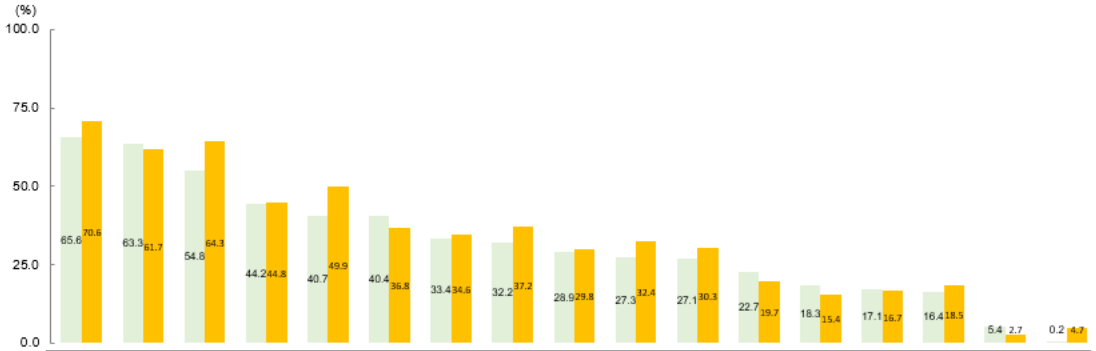




問２　スマートシティに関して期待する分野は何ですか。（複数回答）

令和７年度調査においては、「医療・ヘルスケア（オンライン医療・医療データなどの活用）」が 65%と最も高く、次いで「防犯・安心（AI などを活用した、防犯カメラの活用など）」が 63%、「防災・減災（水害・土砂災害などの各種ハザードマップなど）」が 54%となっている。令和３年度調査時では、「防犯・安心（AI などを活用した、防犯カメラの活用など）」が 64%、「防災・減災（水害・土砂災害などの各種ハザードマップなど）」が 62%であり、順位が逆転している。

図２　スマートシティに関して期待する分野



	n=	医療・ヘルスケア（オンライン医療・医療データなどの活用）	防犯・安心（AIなどを活用した防犯カメラの活用など）	防災・減災（水害・土砂災害などの各種ハザードマップなど）	介護（介護ロボットなど）	行政事務（行政手続きのオンライン化など）	交通・次世代交通サービス（自動運転など）	子育て（子どもの見守りサービスなど）	エネルギー（太陽光、風力など再生可能エネルギーの活用など）	地域コミュニティ（自治会活動の電子化や地域団体の連携推進）	教育（オンライン授業・学習など）	環境保全（雨水等の貯蓄・活用など）	物流（ドローンによる物配送など）	農業・林業（農業データの活用など）	観光・商業（人流データを活用した来訪者属性に応じた観光施策など）	新産業創出（新たな価値の創出）	特になし	その他
R7	987	65.6	63.3	54.8	44.2	40.7	40.4	33.4	32.2	28.9	27.3	27.1	22.7	18.3	17.1	16.4	5.4	0.2
R3	866	70.6	61.7	64.3	44.8	49.9	36.8	34.6	37.2	29.8	32.4	30.3	19.7	15.4	16.7	18.5	2.7	4.7
差分		▲ 5.0	1.6	▲ 9.5	▲ 0.6	▲ 9.2	3.6	▲ 1.2	▲ 5.0	▲ 0.9	▲ 5.1	▲ 3.2	3.0	2.9	0.4	▲ 2.1	2.7	▲ 4.5
10代	40	70.0	57.5	45.0	45.0	37.5	47.5	32.5	27.5	22.5	32.5	30.0	20.0	22.5	20.0	17.5	2.5	0.0
20代	76	63.2	64.5	56.6	40.8	43.4	36.8	43.4	25.0	25.0	28.9	15.8	26.3	18.4	15.8	21.1	3.9	0.0
30代	92	63.0	53.3	52.2	43.5	37.0	37.0	26.1	32.6	26.1	26.1	22.8	25.0	20.7	15.2	18.5	2.2	0.0
40代	136	62.5	65.4	54.4	45.6	41.2	41.2	37.5	30.1	27.2	24.3	31.6	25.0	15.4	19.1	15.4	5.9	0.0
50代	187	66.8	62.0	52.9	45.5	43.9	39.6	24.6	31.0	32.1	21.9	27.3	20.3	19.3	18.2	16.0	2.7	0.0
60代	173	69.9	67.1	54.3	44.5	42.8	43.9	35.8	32.9	31.8	31.2	28.3	24.3	15.0	17.3	17.3	3.5	0.0
70代	166	65.7	66.9	63.3	41.0	37.3	41.6	33.7	34.9	26.5	27.7	28.3	19.3	18.7	15.7	13.9	5.4	0.6
80代	100	63.0	60.0	54.0	47.0	39.0	33.0	38.0	37.0	33.0	28.0	29.0	22.0	21.0	19.0	17.0	1.0	1.0
90代	4	50.0	100.0	50.0	25.0	75.0	75.0	25.0	75.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年代無回答	13	61.5	61.5	30.8	53.8	30.8	53.8	46.2	30.8	23.1	53.8	15.4	30.8	23.1	0.0	7.7	0.0	0.0

「その他」の自由回答（主なもの）

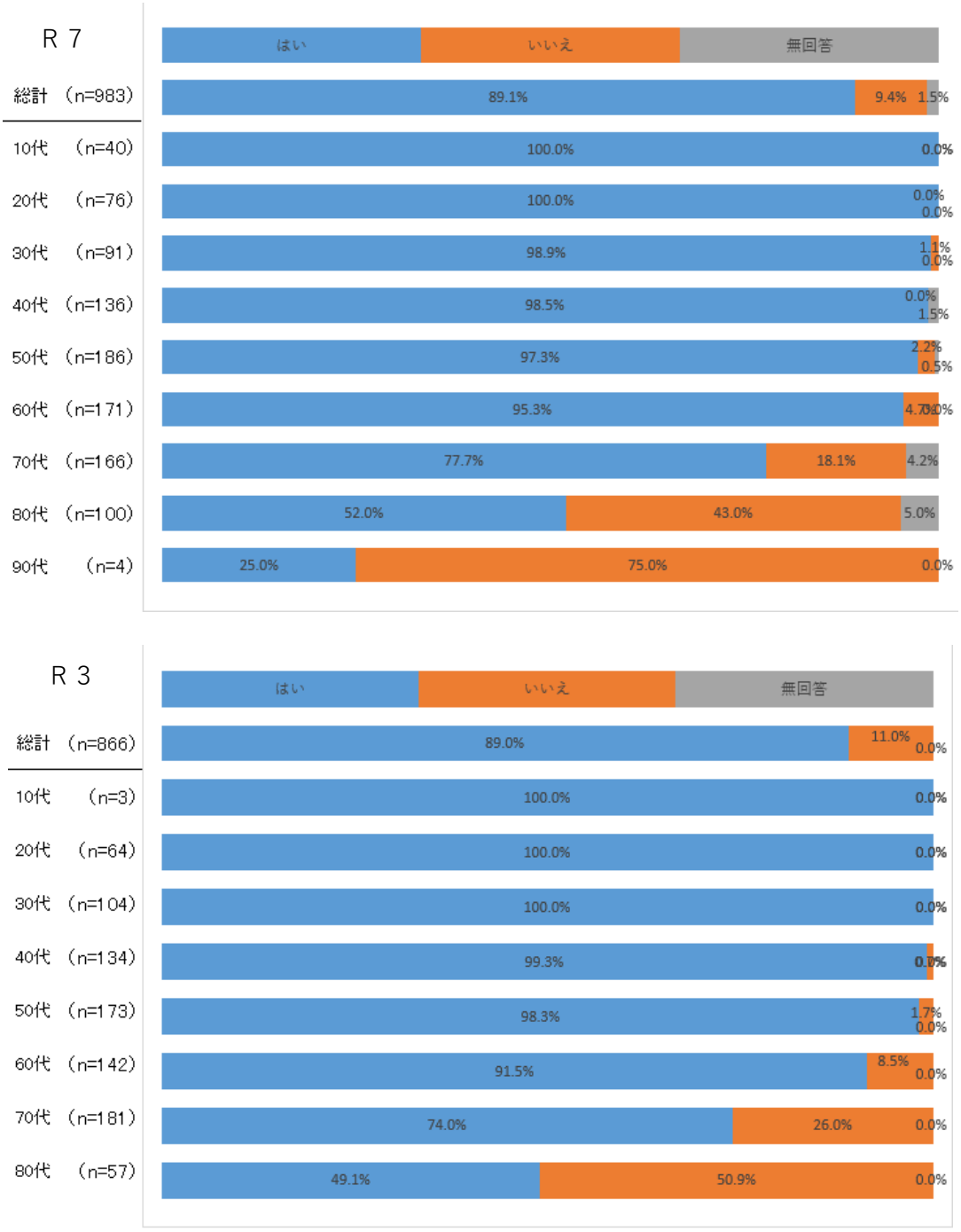
・子供を安心して産める社会→子育て以前の問題、市民が交流し共生できる街づくり、高齢者に優しい行政対応

（2）インターネット･情報通信機器の利用状況について

問３　あなたは過去１年間に、インターネットを利用しましたか。（単一回答）

令和７年度調査においては、「はい（過去１年間にインターネットを利用した）」は 89%、「いいえ（過去１年間にインターネットを利用していない）」は９％となっている。１０代～６０代では令和３年度調査時と同様、90%以上がインターネットを利用しているが、７０代、８０代、９０代と年代が上がるごとにインターネット利用率は減少している。

図３　過去１年間におけるインターネットの利用有無

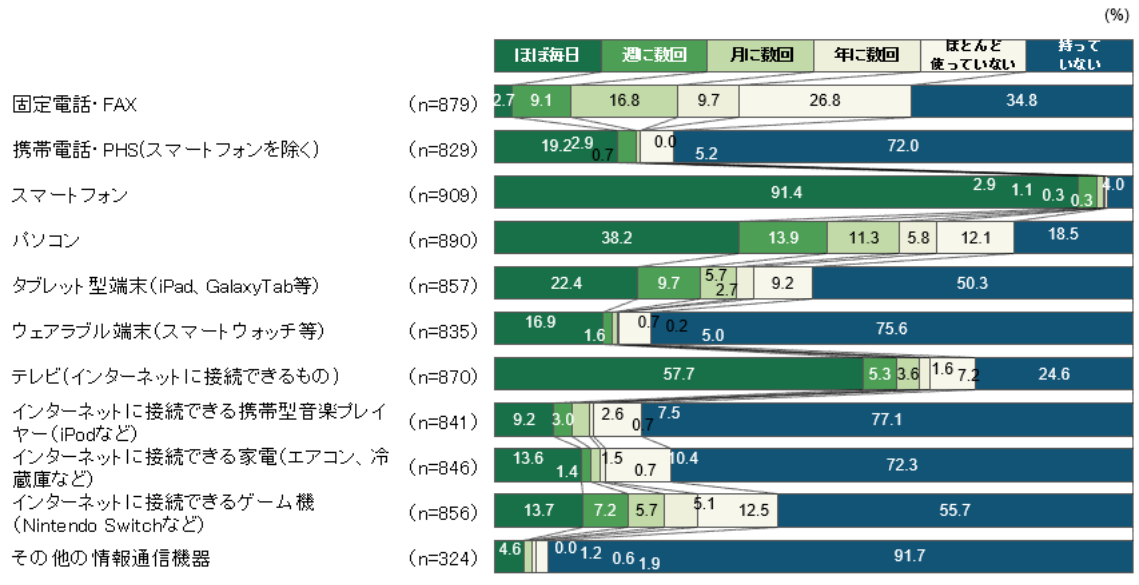


問４　あなたのご家庭で保有している、情報通信機器及びその使用頻度についてお答えください。（単一回答）

令和７年度調査においては、過去１年間にインターネットを使用した人が保有している情報通信機器は、スマートフォンが最も高く、60 代までは 90%以上が保有している。次いでパソコンが 82%、テレビ（インターネットに接続できるもの）が 75%となっている。令和３年度調査時は、スマートフォン、パソコン、固定電話・FAX の順番であり、スマートフォンがさらに５ポイント上昇し、パソコンは５ポイント減少、固定電話・FAX も 10 ポイント減少した半面、テレビ（インターネットに接続できるもの）が 10 ポイント増加した。

保有機器のうち、使用頻度が「ほぼ毎日」の割合が高いのは、スマートフォン、テレビ、パソコンとなっている。

図４　保有している情報通信機器とその使用頻度



	保有の割合		
	R3	R7	差分
固定電話・FAX	74.8	65.2	▲ 9.6
携帯電話・PHS(スマートフォンを除く)	40.3	28.0	▲ 12.3
スマートフォン	92.5	96.0	3.5
パソコン	86.6	81.5	▲ 5.1
タブレット型端末(iPad、GalaxyTab等)	47.1	49.7	2.6
ウェアラブル端末(スマートウォッチ等)	11.0	24.4	13.4
テレビ(インターネットに接続できるもの)	65.4	75.4	10.0
インターネットに接続できる携帯型音楽プレイヤー(iPodなど)	25.9	22.9	▲ 3.0
インターネットに接続できる家電(エアコン、冷蔵庫など)	18.4	27.7	9.3
インターネットに接続できるゲーム機(Nintendo Switchなど)	35.9	44.3	8.4
その他の情報通信機器	8.4	8.3	▲ 0.1

「その他」の自由回答

- サーバ

スマートフォンのみの年代クロスを見ると、特に 60 代～90 代の使用頻度が上昇している。

図４－２　スマートフォン使用状況の年代別割合

ほぼ毎日

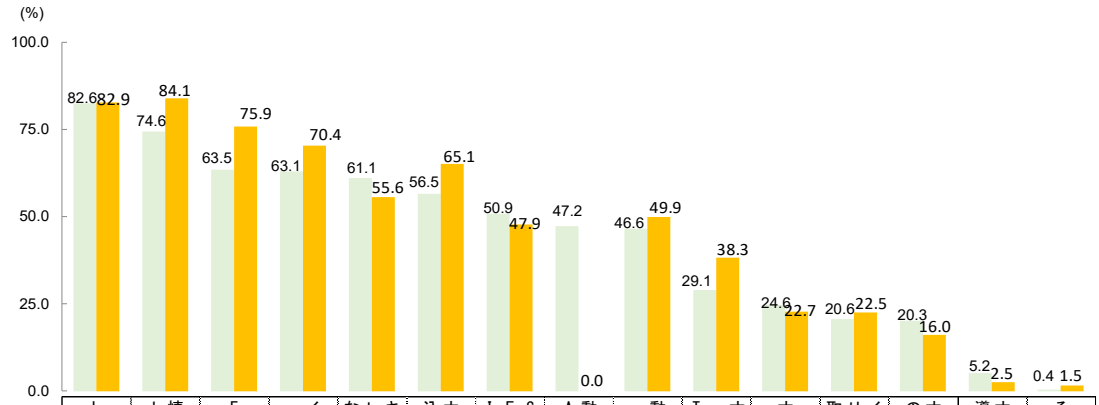
	R3	R7	差分
総計	90.3	91.4	1.1
10代	100.0	100.0	0.0
20代	98.4	97.4	▲ 1.1
30代	99.0	97.8	▲ 1.2
40代	94.0	98.5	4.5
50代	95.3	97.2	1.9
60代	86.2	92.1	6.0
70代	80.6	82.5	1.9
80代	57.1	61.8	4.6
90代	－	33.3	－

問５　あなたが過去１年間に利用したインターネットの機能・サービスをお選びください。（複数回答）

令和７年度調査においては、「LINE の利用」が 83%と最も高く、70 代でも利用率が 70%を超えている。次いで「情報検索（天気情報、ニュースサイト、地図・交通情報などの利用)」が 75%、「E メールの利用」が 64%となっている。また、令和３年度調査時に比べて、「キャッシュレス決済」、「SNS の利用」、「オンラインゲームの利用」、「オンライン学習」の割合が高まっている。

なお、令和３年度調査時には選択肢として設けていなかった「動画視聴」については、今回調査で約半数の方が「利用している」との回答であった。

図５　利用したインターネットの機能・サービス



		LINEの利用	情報検索（天気情報、ニュースサイト、地図・交通情報などの利用）	Eメールの利用	インターネットショッピングの利用（Amazon、楽天市場など）	キャッシュレス決済（〇〇ペイ、クレジットカード、交通系電子マネーなど）	ホームページやブログの閲覧、書き込み	SNSの利用（X、Facebook、Instagramなど）	動画視聴（Netflix、Amazonプライムなど）	動画投稿・共有サイトの利用（YouTubeなど）	オンライン会議システムの利用（Zoom、Microsoft Teamsなど）	オンラインゲームの利用	インターネットオークション・フリーマーケットアプリによる購入・取引	オンライン学習（学校の補講や演習の課題実施、語学レッスンなど）	オンライン診療やオンライン服薬指導	その他
R7	987	82.6	74.6	63.5	63.1	61.1	56.5	50.9	47.2	46.6	29.1	24.6	20.6	20.3	5.2	0.4
R3	754	82.9	84.1	75.9	70.4	55.6	65.1	47.9	—	49.9	38.3	22.7	22.5	16.0	2.5	1.5
差分		▲ 0.3	▲ 9.5	▲ 12.4	▲ 7.3	5.5	▲ 8.6	3.0	47.2	▲ 3.3	▲ 9.2	1.9	▲ 1.9	4.3	2.7	▲ 1.1
10代		100.0	85.0	67.5	45.0	65.0	52.5	72.5	47.5	87.5	32.5	70.0	20.0	75.0	0.0	0.0
20代		93.4	77.6	75.0	77.6	84.2	63.2	88.2	76.3	77.6	50.0	51.3	38.2	39.5	7.9	1.3
30代		95.7	83.7	70.7	83.7	84.8	71.7	87.0	77.2	68.5	43.5	30.4	33.7	26.1	13.0	0.0
40代		94.9	86.8	71.3	89.0	79.4	72.1	66.9	61.8	65.4	41.9	39.0	35.3	28.7	8.1	0.0
50代		90.4	82.9	79.7	79.1	79.1	72.2	65.8	59.9	59.9	33.7	27.3	28.3	21.9	5.9	0.0
60代		84.4	80.3	63.0	63.6	59.0	60.1	36.4	44.5	37.6	30.1	13.9	15.0	14.5	2.9	0.0
70代		71.1	66.3	52.4	41.6	34.9	36.7	19.3	19.3	15.7	7.2	7.8	4.8	5.4	2.4	1.2
80代		47.0	37.0	31.0	16.0	15.0	20.0	13.0	9.0	8.0	9.0	3.0	0.0	0.0	1.0	0.0
90代		0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

「その他」の自由回答（主なもの）

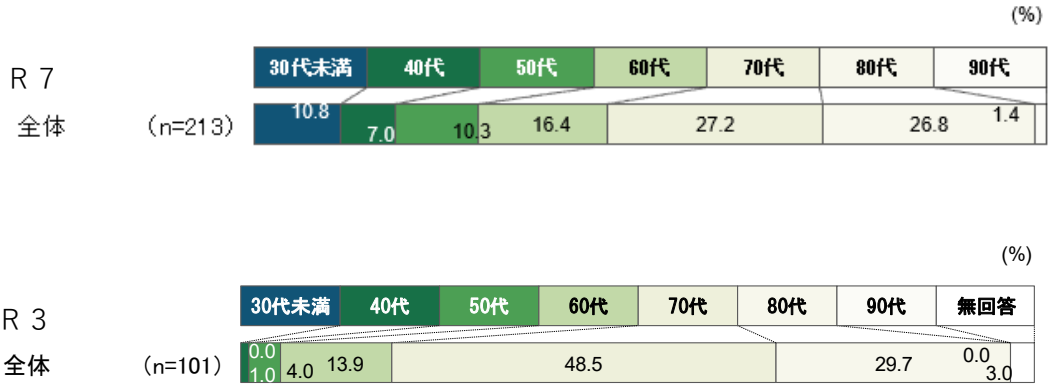
- 給料明細、CD の取り込み、スマホはあるのですが 5%ぐらいしか利用していない、電話だけ、ONLINE の診療受付とカルテ記入のみ、株、証券会社の株を見る、在宅勤務、インターネットバンク

問６　あなたがインターネットをあまり利用していない理由をお選びください。（複数回答）

令和７年度調査において、回答者の年代別割合は 70 代が 27%と最も高く、次いで 80 代が 26%、60 代が 16%となっており、60 代以上の全体に対する割合は合計で 72%であった。令和３年度調査時は 60 代以上の割合が 95%であったため、20 ポイント以上インターネット利用者が増加している。

なお、複数の情報通信機器を保有している方で、一部機器の使用頻度が低い場合を含むため、今回の調査においては、比較的若い年代においても、「使用頻度が低い」との回答が一定数ある状況となっている。

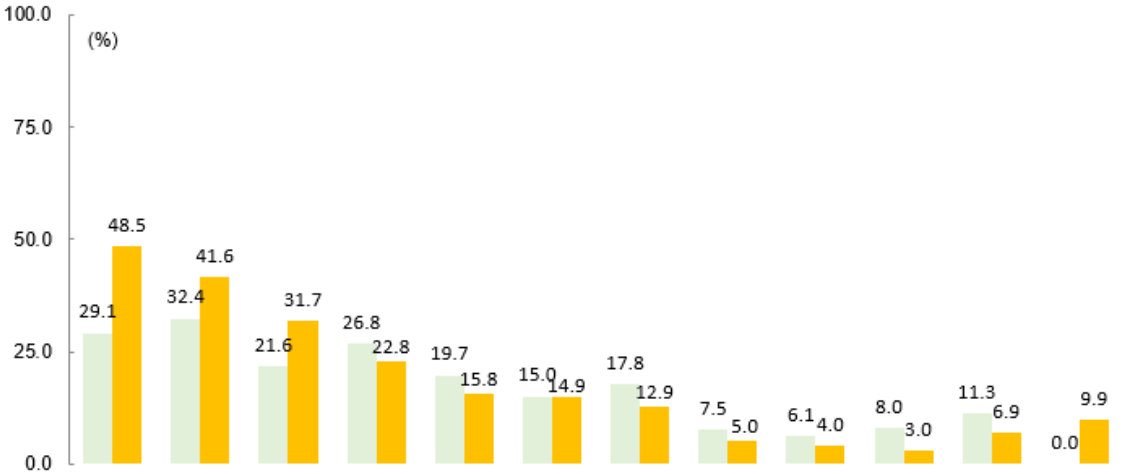
図 6-1　回答者の年代別割合



※回答対象者：問３「いいえ（過去１年間にインターネットを利用していない）」の選択者、及び問４(3)スマートフォン (4)パソコン (5)タブレット型端末の使用頻度がいずれも年に数回以下の人。

図 6-2　インターネットを利用しない理由

インターネットをあまり利用していない理由として、「自分の生活には必要ない」が 32%と最も多く、次いで「どのように使えばよいかわからない」が 29%、「情報漏洩等が不安」が 27%となっている。



n=		どのように使えばよいかわからないから	自分の生活には必要ないと思っているから	必要があれば家族に任せればよいと思っているから	情報漏洩や詐欺被害等のトラブルに遭うのではないかと不安だから	機能があることは知っているが、使う機会がなかったから	以前使おうとしたもしくは使ってみたことがあるが、うまく使えなかったから	購入や利用にかかる料金が高いと感じるから	周囲に相談できる人がいないから	職場や学校だけでの利用など、自宅では利用できないから・自宅で利用する必要がないから	家族と機器を共有しているなど、自分で自由に使えないから	その他	無回答
R7	213	29.1	32.4	21.6	26.8	19.7	15.0	17.8	7.5	6.1	8.0	11.3	0.0
R3	101	48.5	41.6	31.7	22.8	15.8	14.9	12.9	5.0	4.0	3.0	6.9	9.9
差分	112.0	▲ 19.4	▲ 9.2	▲ 10.1	4.0	3.9	0.1	4.9	2.5	2.1	5.0	4.4	▲ 9.9

「その他」の自由回答（主なもの）

・PC のみでスマートフォンをもっていないため
・スマホで十分なため
・スマートフォンがあるため、パソコンの使用機会がないため
・使いこなせない、不必要
・インターネットに繋がっていないため
・以前の物が壊れてから買っていない

（3）ICT（情報通信技術）の普及による、現在の生活への影響について

問７　ICT（情報通信技術）の普及は、現在の生活にどのような影響を与えていると感じますか。あなたのお考えに最も近いものをお選びください。（単一回答）

【(1) 現在の生活を便利にしている・快適にしている】

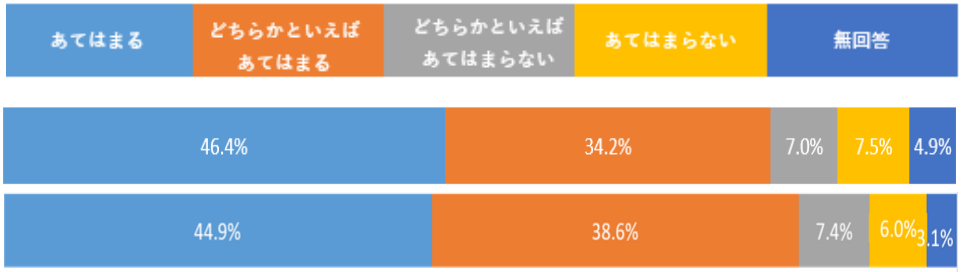
「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計は 80%であり、令和 3 年度調査時（83%）をやや下回る結果となった。

【(2) 現在の生活に新たなリスクを生み出している】

「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計は 61%であり、令和 3 年度調査時（59%）をやや上回る結果となった。

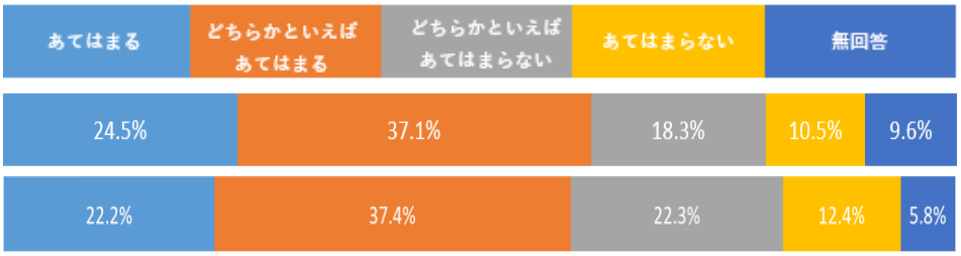
図 7-1　ICT（情報通信技術）の普及による、現在の生活への影響についての意識

(1)　現在の生活を便利にしている・快適にしている



	あてはまる（計）	あてはまらない（計）
R7	80.6%	14.5%
R3	83.5%	13.4%
差分	▲ 2.9	1.2

(2)　現在の生活に新たなリスクを生み出している



	あてはまる（計）	あてはまらない（計）
R7	61.6%	28.8%
R3	59.6%	34.6%
差分	2.1	▲ 5.9

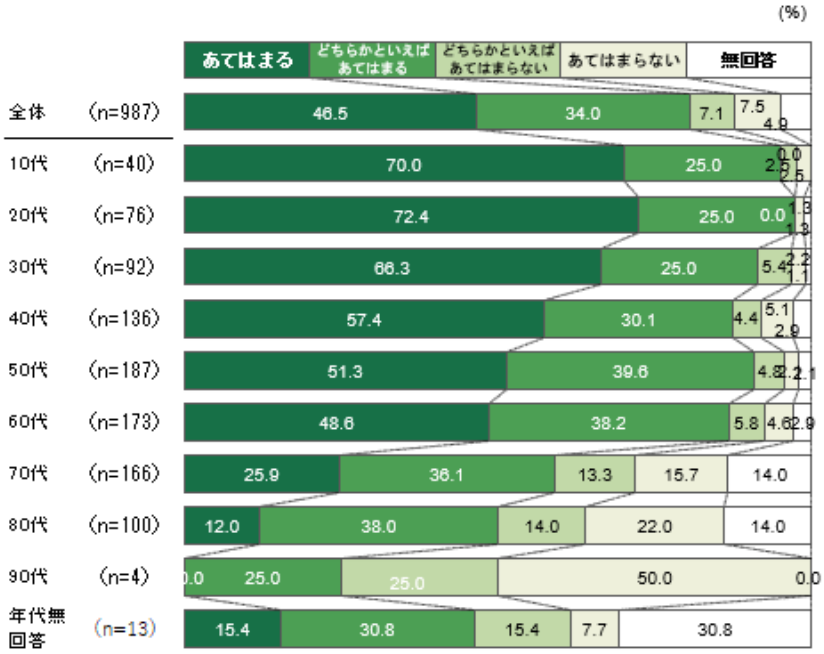
※「あてはまる（計)」…「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計「あてはまらない（計)」…「あてはまらない」「どちらかといえばあてはまらない」の合計

年代別に見ると、「現在の生活を便利にしている・快適にしている」が「あてはまる」、「どちらかといえばあてまはる」と感じる人は、概ね年代が若くなるにつれ、割合が高くなる結果となった。

一方、「現在の生活に新たなリスクを生み出している」と感じる人は、10 代、20 代で高い割合を示した。

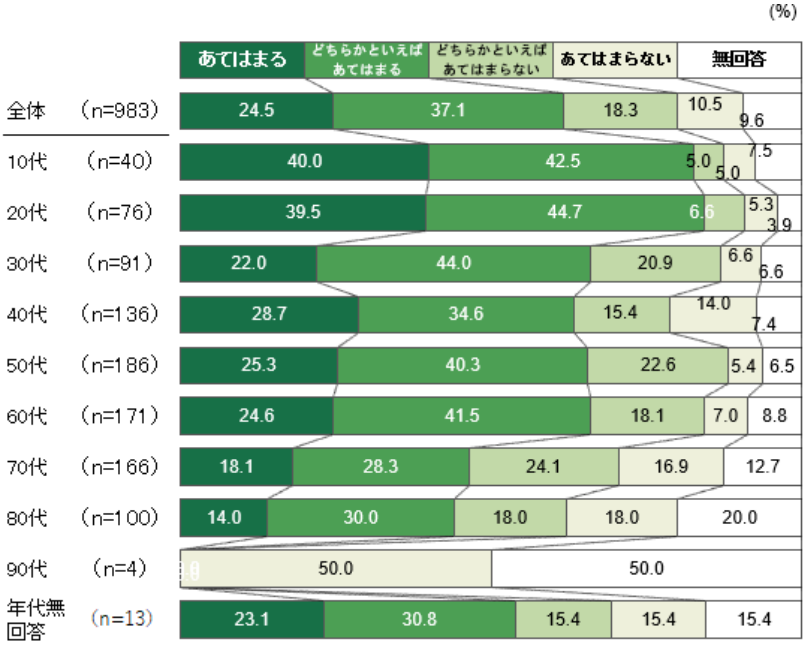
図 7-2　ICT（情報通信技術）の普及による、現在の生活への影響についての意識

(1)現在の生活を便利にしている・快適にしている



	R3		R7		差	
	あてはまる（計）	あてはまらない（計）	あてはまる（計）	あてはまらない（計）	あてはまる（計）	あてはまらない（計）
全体 (n=987)	83.5	13.4	80.5	14.6	▲ 2.9	1.2
10代 (n=40)	－	－	95.0	5.0	－	－
20代 (n=76)	90.6	7.8	97.4	1.3	6.7	▲ 6.5
30代 (n=92)	93.3	6.7	91.3	7.6	▲ 2.0	0.9
40代 (n=136)	91.8	7.5	87.5	9.6	▲ 4.3	2.1
50代 (n=187)	90.8	8.7	90.9	7.0	0.2	▲ 1.7
60代 (n=173)	83.1	13.4	86.7	10.4	3.6	▲ 3.0
70代 (n=166)	71.8	22.7	62.0	28.9	▲ 9.8	6.3
80代 (n=100)	59.6	28.1	50.0	36.0	▲ 9.6	7.9
90代 (n=4)	－	－	25.0	75.0	－	－
年代無回答 (n=13)	－	－	46.2	23.1	－	－

(2) 現在の生活に新たなリスクを生み出している



	R3		R7		差	
	あてはまる（計）	あてはまらない（計）	あてはまる（計）	あてはまらない（計）	あてはまる（計）	あてはまらない（計）
全体 (n=983)	59.6	34.7	61.6	28.8	2.1	▲ 5.9
10代 (n=40)			82.5	10.0	－	－
20代 (n=76)	70.3	28.1	84.2	11.8	13.9	▲ 16.3
30代 (n=91)	62.5	34.6	65.9	27.5	3.4	▲ 7.1
40代 (n=136)	66.4	32.8	63.2	29.4	▲ 3.2	▲ 3.4
50代 (n=186)	65.3	34.7	65.6	28.0	0.3	▲ 6.7
60代 (n=171)	66.9	27.5	66.1	25.1	▲ 0.8	▲ 2.3
70代 (n=166)	48.6	40.9	46.4	41.0	▲ 2.2	0.1
80代 (n=100)	29.8	42.1	44.0	36.0	14.2	▲ 6.1
90代 (n=4)	37.5	37.5	0.0	50.0	－	－
年代無回答 (n=13)			53.8	30.8	－	－

※回答件数の少ない 10 代と年代無回答を除く。

※「あてはまる（計）」…「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計

「あてはまらない（計）」…「あてはまらない」「どちらかといえばあてはまらない」の合計

問８　問５でオンライン学習を利用したことがあるとお答えの方にうかがいます。オンライン学習の導入により、学習環境が快適になっていると感じますか。あなたのお考えにもっとも近いものをお選びください。（単一回答）

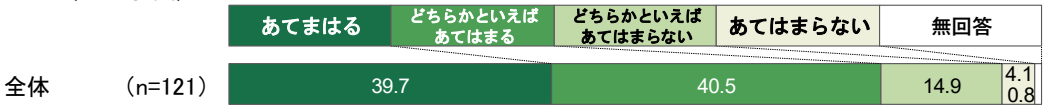
「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計は 94%と高く、令和 3 年度調査時（80%）と比べ、割合が大きく上昇する結果となった。

図８　オンライン学習の導入による学習環境への影響

（R7 年度）

あてはまる（計）	あてはまらない（計）
94.0	4.5

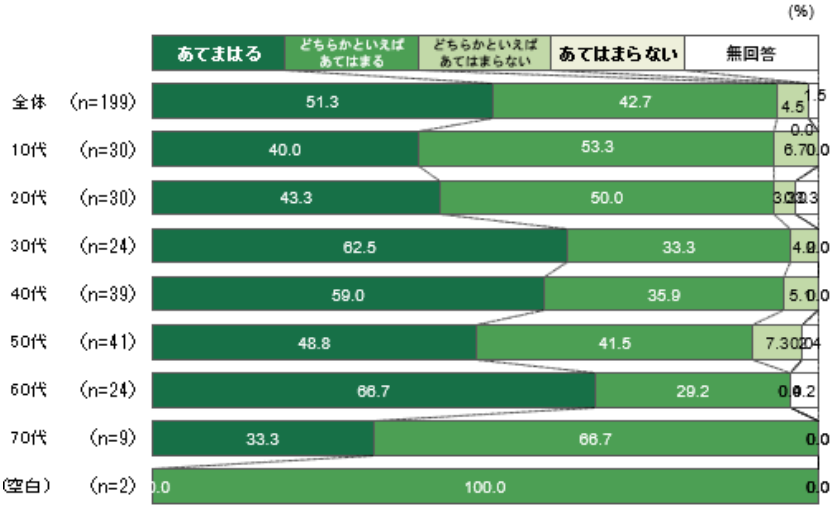
（R3 年度）



あてはまる（計）	あてはまらない（計）
80.2	19.0

※回答対象者：問５「オンライン学習（学校の補講や演習の課題実施、語学レッスンなど）」の選択者。

※「あてはまる（計）」…「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計
「あてはまらない（計）」…「あてはまらない」「どちらかといえばあてはまらない」の合計



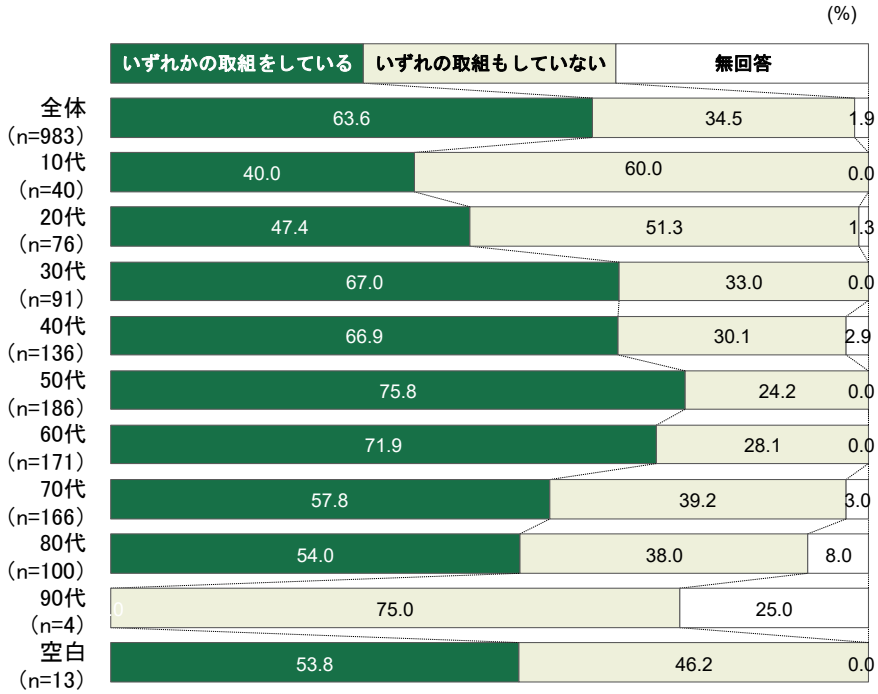
	R3		R7		差	
	あてはまる（計）	あてはまらない（計）	あてはまる（計）	あてはまらない（計）	あてはまる（計）	あてはまらない（計）
全体　(n=199)	80.8	19.2	94.0	4.5	13.1	▲ 14.6
10代　(n=30)	–	–	93.3	6.7	–	–
20代　(n=30)	72.7	27.3	93.3	3.3	20.6	▲ 23.9
30代　(n=24)	83.3	16.7	95.8	4.2	12.5	▲ 12.5
40代　(n=39)	77.1	22.9	94.9	5.1	17.7	▲ 17.7
50代　(n=41)	86.4	13.6	90.2	7.3	3.9	▲ 6.3
60代　(n=24)	80.0	20.0	95.8	0.0	15.8	▲ 20.0
70代　(n=9)	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
(空白)　(n=2)	–	–	100.0	0.0	–	–

問９　ICT（情報通信技術）などのテクノロジーを活用した、環境保全に関する取組について、あなたが現在行っているものをお選びください。（複数回答）

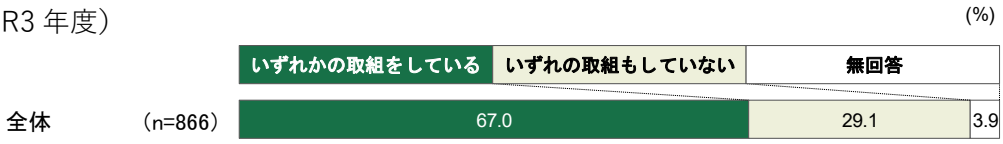
環境保全に関するいずれかの取組をしている人は 63%であり、令和 3 年度調査時（67%）に比べてやや減少した。

図 9-1　ICT（情報通信技術）などのテクノロジーを活用した、環境保全に関する取り組み状況

（R7 年度）



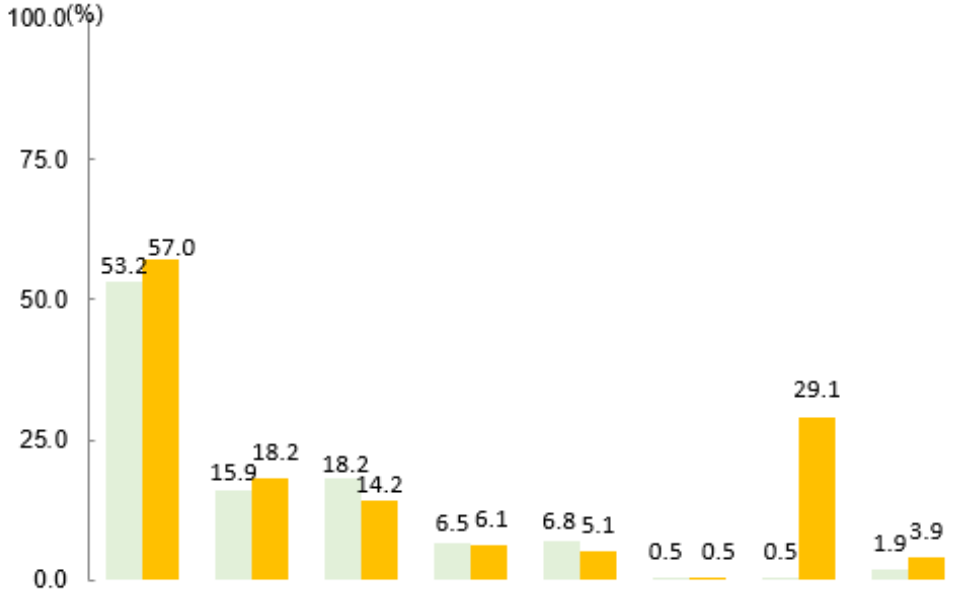
（R3 年度）



※「その他」「現在は取り組んでいない」以外の選択肢のうち、いずれかを選択した人を「いずれかの取り組みをしている」としている。

また、具体的な取組の内容については、令和 3 年度調査時と同様、「冷蔵庫、エアコン、照明器具などの家電製品を購入する際に、省エネルギー効果の高い製品を購入」が 53%で最も高い。次いで「部屋の温度を快適に保つ高断熱などの省エネ住宅への居住、又はリフォームの施工」が 18%、「電気自動車などのエコカーの選択やゆっくり加速・減速などのエコドライブの実践」が 16%となっており、この 2 つの取組みについて、令和 3 年度調査時と順位が逆転している。

図 9-2　ICT（情報通信技術）などのテクノロジーを活用した、環境保全に関する取組の内容



		冷蔵庫、エアコン、照明器具などの家電製品を購入する際に、省エネルギー効果の高い製品を購入	電気自動車などのエコカーの選択やゆっくり加速・減速などのエコドライブの実践	部屋の温度を快適に保つ高断熱などの省エネ住宅への居住、又はリフォームの施工	太陽光発電パネルの設置による自家発電、又は自宅の電気を再生可能エネルギーに切替え	カーシェア、シェアサイクルなど環境負荷が少ない移動手段の活用	その他	現在は取り組んでいない	無回答
R7	987	53.2	15.9	18.2	6.5	6.8	0.5	0.5	1.9
R3	866	57.0	18.2	14.2	6.1	5.1	0.5	29.1	3.9
差分		▲ 3.8	▲ 2.3	4.0	0.4	1.7	0.0	▲ 28.6	▲ 2.0

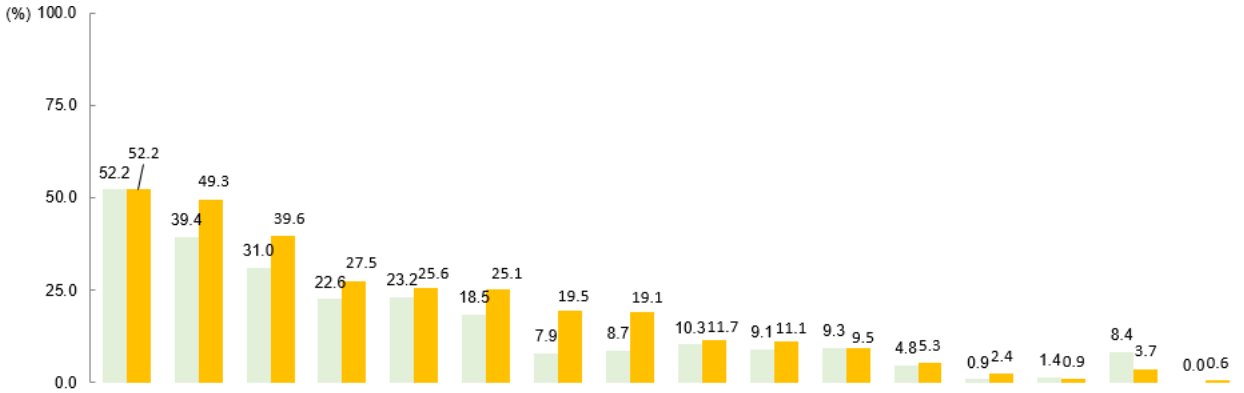
「その他」の自由回答（主なもの）

- 太陽光ソーラー設置
- 車を長く乗る

問 10　あなたは千葉市からの防犯・防災に関する情報をどのような方法で受け取っていますか。（複数回答）

「携帯電話・スマートフォンのエリアメール・緊急速報メール」が 52%と最も高く、次いで「市政だより」が 39%、「ラジオやテレビ（ケーブルテレビを含む）」が 31%となっている。ただし、「市政だより」と「ラジオやテレビ」については、令和 3 年度調査時に比べて、割合が約 10 ポイント低下している。全体的に、令和 7 年度の方が低い割合となっており、「ちばし安全・安心メール」及び「防災行政無線」についても、10 ポイントを超える低下率となった。

図 10　千葉市からの防犯・防災に関する情報の取得方法



	n=	携帯電話・スマートフォンのエリアメール・緊急速報メール	市政だより	ラジオやテレビ（ケーブルテレビを含む）	町内自治会や自主防災組織からの連絡	防災アプリ（Yahoo！防災速報など）	千葉市ホームページ	ちばし安全・安心メール	防災行政無線（公園などに設置したスピーカー）	千葉市や千葉市長からのSNS発信（X、Facebook、LINEなど）	近所の方や知人からの情報	学校家庭間連絡ツール（「すぐーる」）	市や市長から以外のSNS情報（X、Facebook、LINEなど）	市以外のホームページ	その他	情報を受け取ったことがない	無回答
R7	987	52.2	39.4	31.0	22.6	23.2	18.5	7.9	8.7	10.3	9.1	9.3	4.8	0.9	1.4	8.4	0.0
R3	866	52.2	49.3	39.6	27.5	25.6	25.1	19.5	19.1	11.7	11.1	9.5	5.3	2.4	0.9	3.7	0.6
差分		0.0	▲ 9.9	▲ 8.6	▲ 4.9	▲ 2.4	▲ 6.6	▲ 11.6	▲ 10.4	▲ 1.4	▲ 2.0	▲ 0.2	▲ 0.5	▲ 1.5	0.5	4.7	▲ 0.6
10代	40	1.7	0.2	1.6	0.2	1.0	0.2	0.0	0.3	0.1	0.3	0.6	0.3	0.0	0.0	0.8	0.0
20代	76	2.1	0.5	1.6	0.2	1.4	0.7	0.3	0.8	1.1	0.6	0.1	0.8	0.0	0.2	1.9	0.0
30代	92	3.0	1.3	1.8	1.1	2.7	2.4	0.3	0.8	1.7	0.2	1.5	1.2	0.1	0.2	1.1	0.0
40代	136	7.6	4.2	3.6	1.5	3.7	2.7	1.1	0.9	1.9	1.0	5.4	0.9	0.1	0.3	0.6	0.0
50代	187	10.0	7.2	5.3	4.2	5.0	4.6	2.0	1.8	2.2	1.8	1.2	0.8	0.5	0.2	1.4	0.0
60代	173	8.9	8.4	6.2	3.7	4.5	3.7	1.9	2.3	1.5	1.2	0.3	0.5	0.0	0.1	0.9	0.0
70代	166	8.0	9.9	5.9	6.8	3.6	2.6	1.7	1.0	1.3	2.0	0.1	0.2	0.2	0.3	1.0	0.0
80代	100	3.6	6.8	4.3	4.3	1.1	1.3	0.4	0.4	0.3	1.8	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	0.0
90代	4	0.0	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
年代無回答	13	0.3	0.7	0.6	0.5	0.1	0.2	0.1	0.3	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

「その他」の自由回答（主なもの）

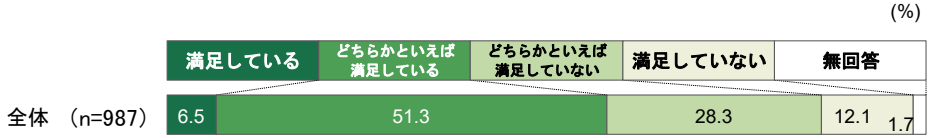
- 警察からの電話での注意、保育所のアプリ、火災情報の HP、家族から、千葉市独自のではなくスマホの緊急通知、警察からのメール、広域アナウンス

問 11　千葉市からの防犯・防災に関する情報発信について満足していますか。あなたのお考えにもっとも近いものをお選びください。（単一回答）

「満足している」、「どちらかといえば満足している」の合計は 58%となり、令和 3 年度調査時（57%）とほぼ同じ水準であった。

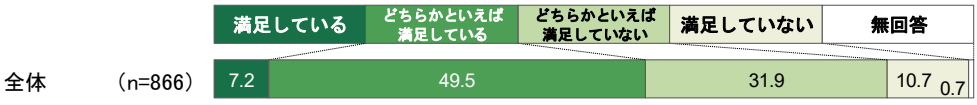
図 11　千葉市からの防犯・防災に関する情報の満足度

（R7 年度）



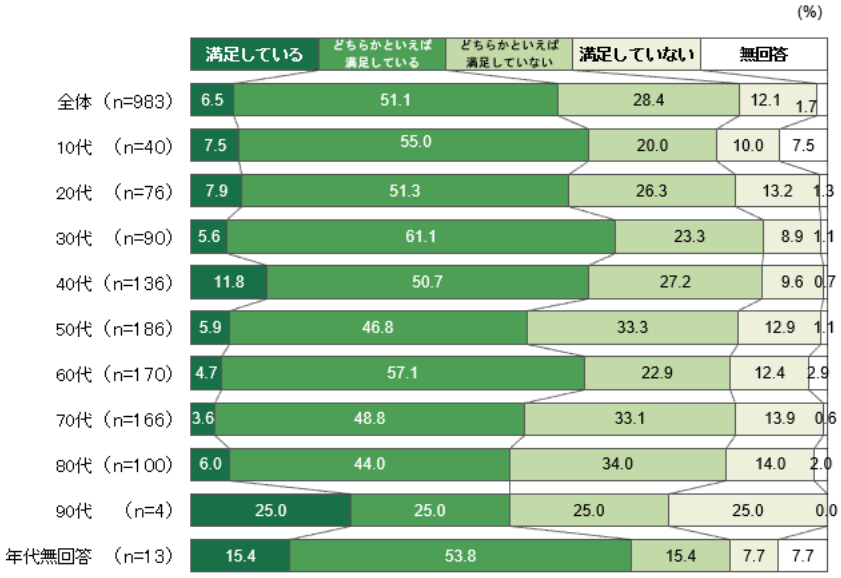
満足している（計）	満足していない（計）
57.8	40.3

（R3 年度）



満足している（計）	満足していない（計）
56.7	42.6

※「満足している（計）」…「満足している」「どちらかといえば満足している」の合計
「満足していない（計）」…「満足していない」「どちらかといえば満足していない」の合計

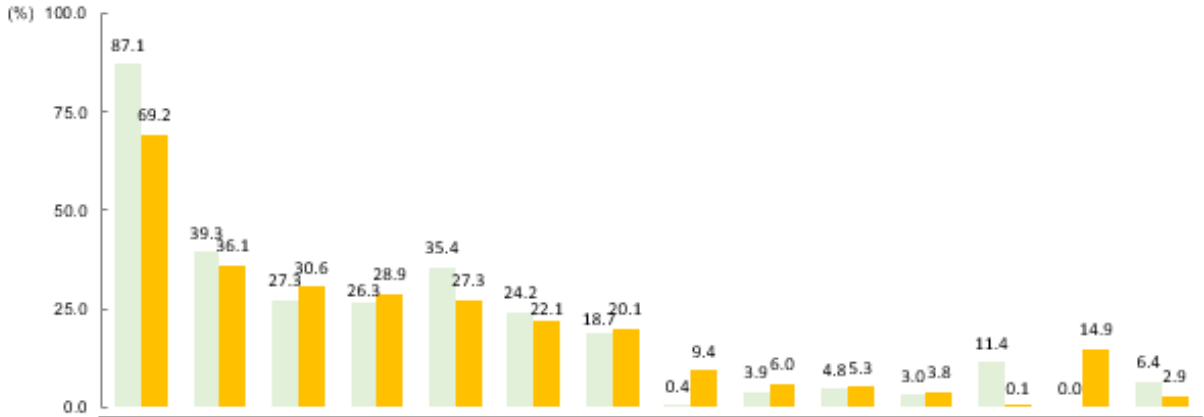


	R3		R7		差	
	満足している（計）	満足していない（計）	満足している（計）	満足していない（計）	あてはまる（計）	あてはまらない（計）
全体（n=983）	56.7	42.6	57.6	40.5	0.9	▲ 2.1
10代　（n=40）	－	－	62.5	30.0	－	－
20代　（n=76）	68.8	31.3	59.2	39.5	▲ 9.5	8.2
30代　（n=90）	57.7	42.3	66.7	32.2	9.0	▲ 10.1
40代（n=136）	64.9	35.1	62.5	36.8	▲ 2.4	1.7
50代（n=186）	56.6	42.8	52.7	46.2	▲ 4.0	3.5
60代（n=170）	58.5	40.8	61.8	35.3	3.3	▲ 5.6
70代（n=166）	48.6	50.3	52.4	47.0	3.8	▲ 3.3
80代（n=100）	45.6	50.9	50.0	48.0	4.4	▲ 2.9
90代　（n=4）	－	－	50.0	50.0	－	－
年代無回答　（n=13）	25.0	75.0	69.2	23.1	44.2	▲ 51.9

問 12　千葉市で実施しているオンラインサービスについて、あてはまるものをお選びください。（複数回答）

【(1) 千葉市で実施しているオンラインサービスの認知】

令和 7 年度調査では、「マイナンバーカードを活用した住民票等のコンビニ交付」、「行政手続きのインターネット申請」の認知度が上昇している。逆に、「公共施設のインターネット予約・申請」や「図書館蔵書のインターネット検索・予約」については、令和 3 年度調査時に比べて、やや認知度が下がっている。

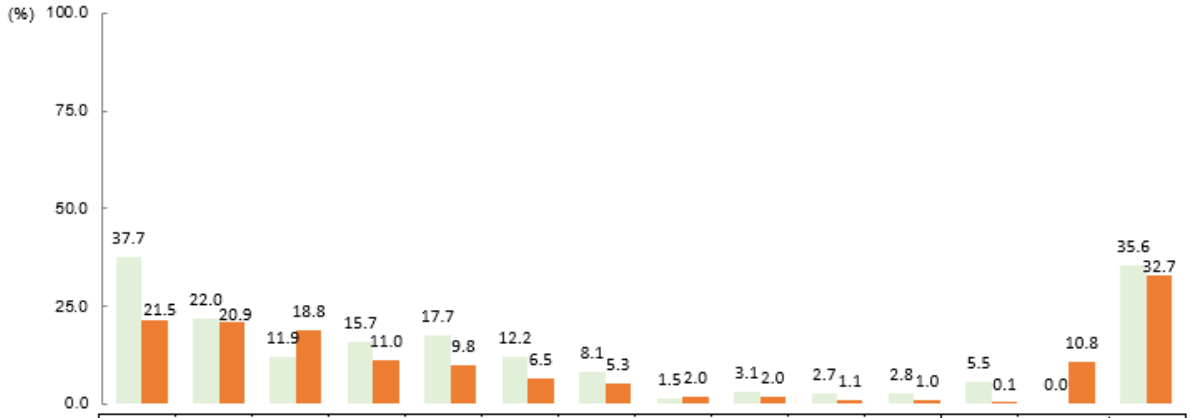


	n=	マイナンバーカードを活用した住民票等のコンビニ交付	粗大ごみのインターネット受付	公共施設のインターネット予約・申請	図書館蔵書のインターネット検索・予約	行政手続きのインターネット申請	インターネットによる市税の電子申告（eLTAX）	シェアサイクル	電動キックボード	ちばレポ	電子入札	あなたが使える制度お知らせサービス（For You）	その他	あてはまるものはない	無回答
R7	987	87.1	39.3	27.3	26.3	35.4	24.2	18.7	0.4	3.9	4.8	3.0	11.4	0.0	6.4
R3	866	69.2	36.1	30.6	28.9	27.3	22.1	20.1	9.4	6.0	5.3	3.8	0.1	14.9	2.9
差分		17.9	3.2	▲ 3.3	▲ 2.6	8.1	2.1	▲ 1.4	▲ 9.0	▲ 2.1	▲ 0.5	▲ 0.8	11.3	▲ 14.9	3.5
全体	987	87.1	39.3	27.3	26.3	35.4	24.2	18.7	0.4	3.9	4.8	3.0	11.4	0.0	6.4
10代	40	2.6	0.8	1.4	1.5	0.7	0.5	0.8	0.2	0.4	0.3	0.2	0.4	0.0	0.7
20代	76	6.3	2.0	2.1	2.3	3.6	1.1	1.7	0.1	0.1	0.1	0.3	0.7	0.0	0.7
30代	92	8.4	5.0	2.5	2.5	4.3	2.8	2.8	0.0	0.3	1.0	0.2	0.3	0.0	0.4
40代	136	12.0	7.8	5.1	5.3	6.4	4.8	3.2	0.0	0.6	0.6	0.7	0.7	0.0	0.5
50代	187	17.4	9.1	5.4	5.7	7.8	5.1	4.7	0.0	1.0	1.4	0.7	1.4	0.0	0.6
60代	173	16.3	8.5	5.7	5.0	7.3	5.5	3.4	0.0	0.9	1.0	0.5	0.8	0.0	0.5
70代	166	14.8	4.4	3.4	2.7	3.6	3.1	1.7	0.1	0.3	0.2	0.2	3.7	0.0	1.1
80代	100	7.8	1.3	1.2	0.9	1.3	0.9	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	2.8	0.0	1.7
90代	4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.1
年代無回答	13	1.2	0.4	0.4	0.4	0.3	0.4	0.2	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0

【(2) 千葉市で実施しているオンラインサービスの利用】

令和 3 年度調査時と比べ、「粗大ごみのインターネット受付」が大きく伸びており、「行政手続きのインターネット申請」、「インターネットによる市税の電子申告」、「公共施設のインターネット予約・申請」も伸びる結果となった。オンラインサービスの利用については、着実に進展しているといえる。

図 12-2　千葉市で実施しているオンラインサービスの利用状況

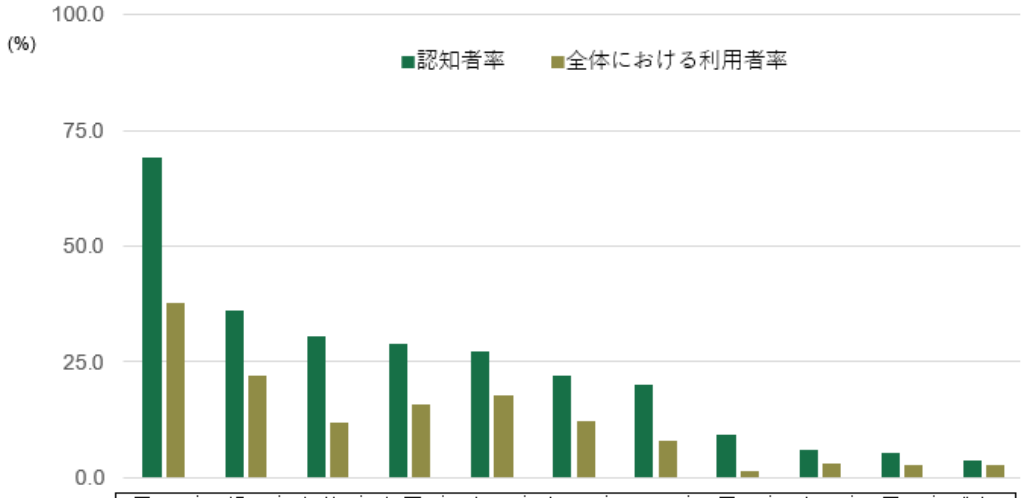


	n=	粗大ごみのインターネット受付	マイナンバーカードを活用した住民票等のコンビニ交付	図書館蔵書のインターネット検索・予約	公共施設のインターネット予約・申請	行政手続きのインターネット申請	インターネットによる市税の電子申告（eLTAX）	シェアサイクル	ちばレポ	あなたが使える制度お知らせサービス（For You）	電動キックボード	電子入札	その他	あてはまるものはない	無回答
R7	987	37.7	22.0	11.9	15.7	17.7	12.2	8.1	1.5	3.1	2.7	2.8	5.5	0.0	35.6
R3	712	21.5	20.9	18.8	11.0	9.8	6.5	5.3	2.0	2.0	1.1	1.0	0.1	10.8	32.7
差分		16.2	1.1	▲ 6.9	4.7	7.9	5.7	2.8	▲ 0.5	1.1	1.6	1.8	5.4	▲ 10.8	2.9
10代	40	1.2	0.1	0.4	0.8	0.5	0.2	0.4	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	1.9
20代	76	4.4	1.5	1.5	1.7	3.2	1.5	1.2	0.3	0.5	0.6	0.6	0.5	0.0	1.3
30代	92	4.9	2.7	1.5	1.9	2.8	1.5	1.2	0.2	0.4	0.3	0.4	0.6	0.0	1.5
40代	136	6.4	4.8	2.0	2.6	2.6	2.7	1.5	0.4	0.7	0.6	0.7	0.2	0.0	3.5
50代	187	8.0	5.7	1.8	4.1	3.4	2.3	2.4	0.2	0.6	0.5	0.5	0.9	0.0	5.5
60代	173	6.5	4.2	2.1	2.2	3.0	2.6	0.7	0.3	0.3	0.3	0.3	0.6	0.0	7.0
70代	166	4.1	2.4	1.1	1.5	1.4	1.0	0.3	0.0	0.1	0.1	0.1	1.6	0.0	7.5
80代	100	1.8	0.5	0.9	0.4	0.4	0.1	0.1	0.0	0.3	0.1	0.1	0.9	0.0	6.3
90代	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
年代無回答	13	0.5	0.1	0.4	0.4	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.6

※回答対象者：問 12(1)で、千葉市で実施しているオンラインサービスのいずれかを知っていると回答した人。

令和７年度調査では、千葉市で実施しているオンラインサービスそれぞれの利用者率を見たとき、「マイナンバーカードを活用した住民票等のコンビニ交付」が 38%と最も高く、「粗大ごみのインターネット受付」が 22%と続いている。認知者率において「マイナンバーを活用した住民票等のコンビニ交付」は 69%と最も高かった。

図 12-3　千葉市で実施している各オンラインサービスの認知者における利用率



	n=	マイナンバーカードを活用した住民票等のコンビニ交付	粗大ごみのインターネット受付	公共施設のインターネット予約・申請	図書館蔵書のインターネット検索・予約	行政手続きのインターネット申請	インターネットによる市税の電子申告（eLTAX）	シェアサイクル	電動キックボード	ちばレポ	電子入札	あなたが使える制度お知らせサービス（For You）
認知者率	987	69.2	36.1	30.6	28.9	27.3	22.1	20.1	9.4	6.0	5.3	3.8
全体における利用者率	987	37.7	22.0	11.9	15.7	17.7	12.2	8.1	1.5	3.1	2.7	2.8

※図 12-3 は、それぞれのオンラインサービスについて、サービスを知っている人の何割程度が利用しているのかを示すことを目的としている。

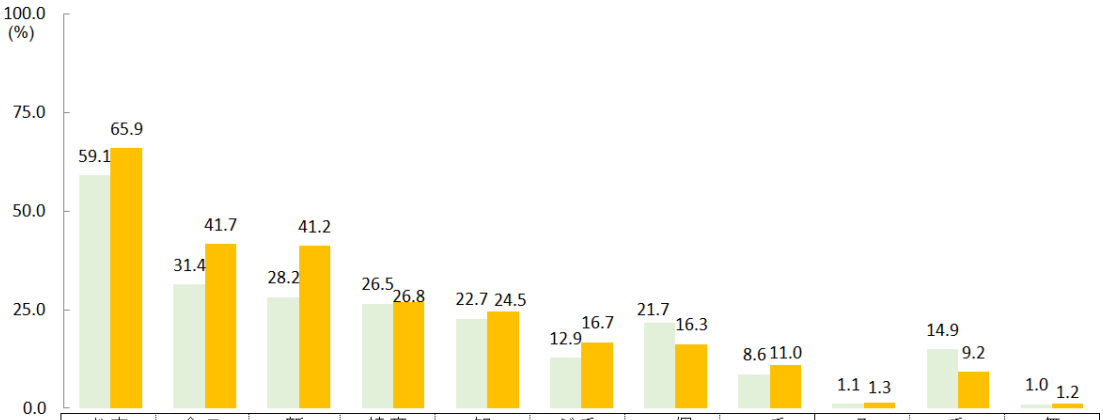
※「全体における利用者率」は、それぞれのオンラインサービス利用者数を回答者全体の数（n=987）で除して計算している。
前出の図 12-2 は、それぞれのオンラインサービスの利用者数を、千葉市が実施するオンラインサービスのいずれか１つでも知っていると回答した人の数で除して計算したものであり、考え方及び計算方法が異なる点に注意。

（4）千葉市の魅力について

問 13　あなたは千葉市の魅力（お出かけ情報やまちの話題など)に関する情報をどのような方法で受け取っていますか。（複数回答）

令和 3 年度調査時に比べ、「個人からのインターネット上の配信」がやや伸びたものの、それ以外は減少または横ばいとなった。特に「ラジオやテレビ」、「新聞や雑誌などの紙媒体」の減少幅が大きくなっている。

図 13　千葉市の魅力に関する情報の取得方法



	n=	市政だよりや千葉市観光協会のガイドブックなどの紙媒体	ラジオやテレビ（ケーブルテレビを含む）	新聞や雑誌などの紙媒体	商業施設などのインターネット上の情報（ホームページやSNSなど）	知人・友人や近所の方からの情報	千葉市・千葉市観光協会ホームページ	個人からのインターネット上の発信（ブログ、SNSなど）	千葉市や千葉市長からのSNS発信（X、Facebookなど）	その他	千葉市の魅力を受け取っていない	無回答
R7	987	59.1	31.4	28.2	26.5	22.7	12.9	21.7	8.6	1.1	14.9	1.0
R3	866	65.9	41.7	41.2	26.8	24.5	16.7	16.3	11.0	1.3	9.2	1.2
差分		▲ 6.8	▲ 10.3	▲ 13.0	▲ 0.3	▲ 1.8	▲ 3.8	5.4	▲ 2.4	▲ 0.2	5.7	▲ 0.2
10代		5.3	14.9	8.5	13.8	12.8	6.4	17.0	6.4	0.0	14.9	0.0
20代		16.0	11.5	7.7	12.8	7.1	7.1	15.4	6.4	2.6	13.5	0.0
30代		17.6	10.0	6.3	18.1	8.6	6.8	18.1	7.2	0.9	5.4	0.9
40代		25.8	10.7	5.4	15.7	9.0	5.4	14.7	5.0	0.7	7.4	0.3
50代		25.2	12.1	11.4	14.5	9.9	4.8	11.2	4.8	0.0	5.9	0.2
60代		27.3	16.2	14.6	12.2	8.7	7.1	6.6	1.6	0.5	5.2	0.0
70代		33.2	16.9	19.6	4.6	10.7	6.4	2.4	1.9	0.0	3.8	0.5
80代		36.6	17.0	19.6	2.1	14.4	0.5	0.5	1.0	0.0	6.2	2.1
90代		75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
年代無回答		27.6	13.8	10.3	10.3	17.2	6.9	3.4	0.0	3.4	6.9	0.0

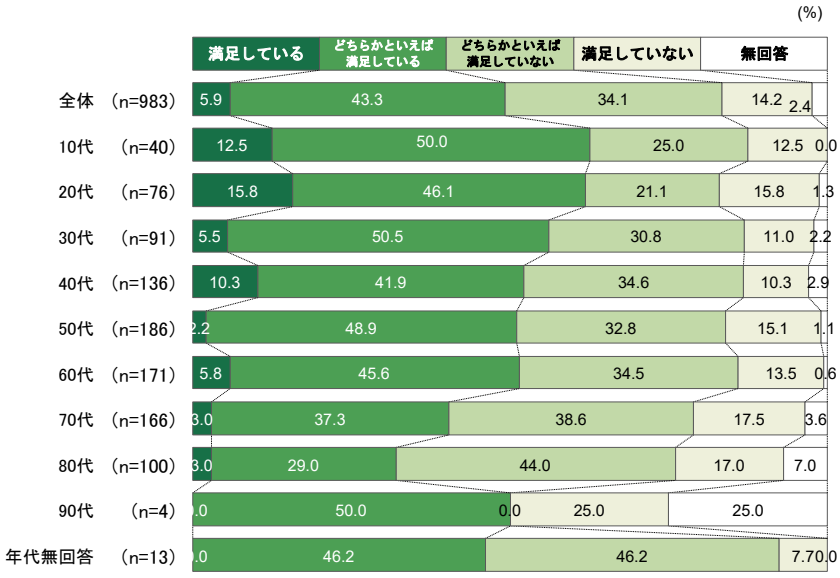
「その他」の自由回答（主なもの）

- 学校から配布されるチラシ、Instagram で流れてくる、駅などの広告、魅力は知ってるが他人から受け取ったことはない、web 検索

問 14　千葉市の魅力に関して、千葉市や千葉市以外からの情報発信について満足していますか。あなたのお考えにもっとも近いものをお選びください。（単一回答）

「満足している」、「どちらかといえば満足している」の合計と「満足していない」、「どちらかといえば満足していない」の合計が、ほぼ同じ割合となった。年代別で見ると、若い世代ほど「満足している」または「どちらかといえば満足している」の割合が高い傾向にあった。

図 14　千葉市の魅力に関する千葉市や千葉市以外からの情報発信に対する満足度



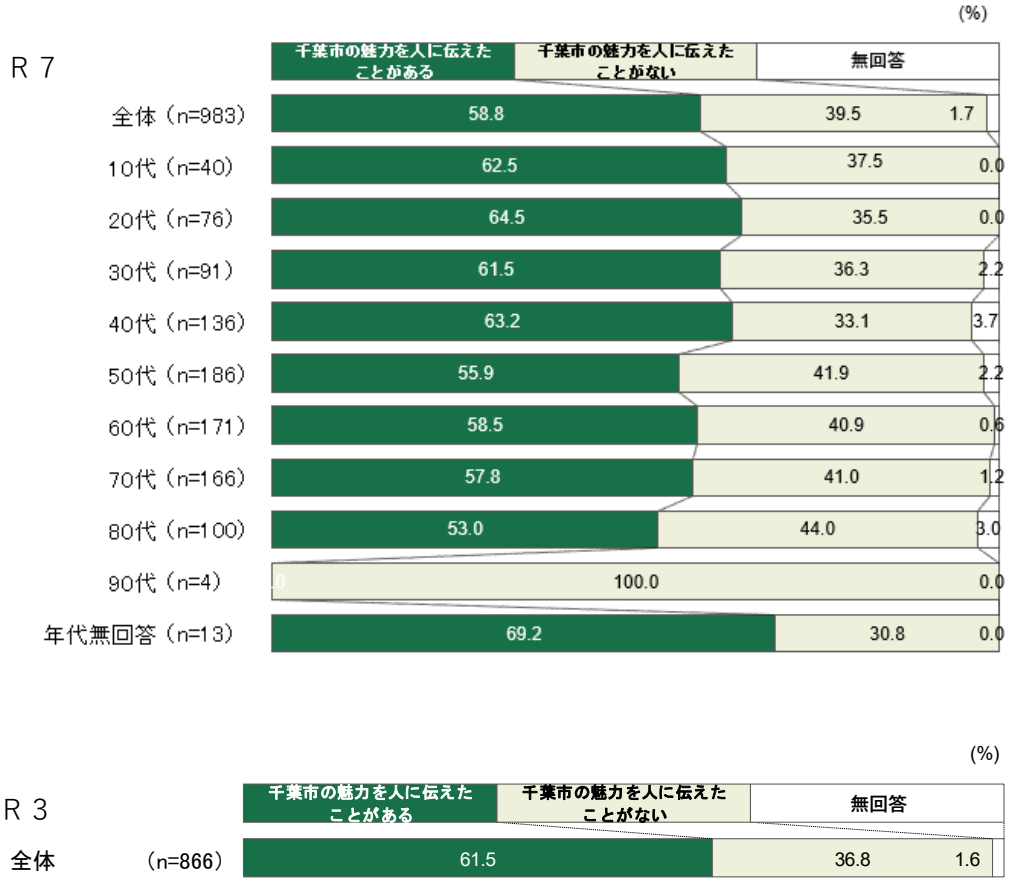
	R3		R7		差	
	満足している（計）	満足していない（計）	満足している（計）	満足していない（計）	満足している（計）	満足していない（計）
全体　(n=983)	45.5	53.1	49.2	48.3	3.7	▲ 4.8
10代　(n=40)	—	—	62.5	37.5	—	—
20代　(n=76)	56.3	43.8	61.8	36.8	5.6	▲ 6.9
30代　(n=91)	54.8	45.2	56.0	41.8	1.2	▲ 3.4
40代　(n=136)	54.5	45.5	52.2	44.9	▲ 2.3	▲ 0.7
50代　(n=186)	42.2	56.1	51.1	47.8	8.9	▲ 8.2
60代　(n=171)	43.7	55.6	51.5	48.0	7.8	▲ 7.7
70代　(n=166)	34.3	63.5	40.4	56.0	6.1	▲ 7.5
80代　(n=100)	45.6	47.4	32.0	61.0	▲ 13.6	13.6
90代　(n=4)	—	—	50.0	25.0	—	—
年代無回答　(n=13)	25.0	75.0	46.2	53.8	21.2	▲ 21.2

※「満足している（計）」…「満足している」「どちらかといえば満足している」の合計
「満足していない（計）」…「満足していない」「どちらかといえば満足していない」の合計

問 15　千葉市の魅力を人に伝えたことがありますか。あなたが伝えたことのある方法をお選びください。(複数回答)

いずれかの方法で千葉市の魅力を伝えたことがある人の割合は 58%で、令和 3 年度調査時（61%）に比べ、やや減少した。年代別にみると、40 代までは 60%以上が「魅力を伝えたことがある」と回答している一方、50 代以上は 60%未満にとどまった。

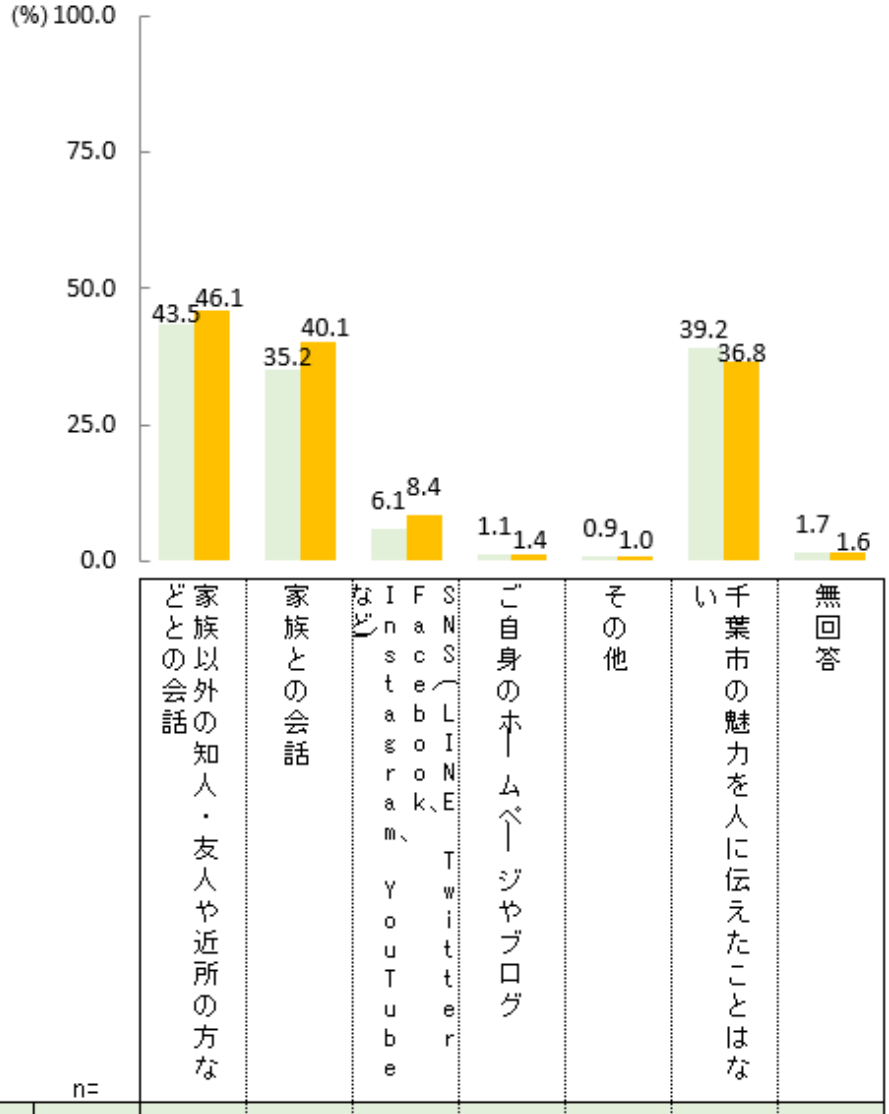
図 15-1　千葉市の魅力を人に伝えた経験



※「家族との会話」「家族以外の知人・友人や近所の方などとの会話」「ご自身のホームページやブログ」「SNS」「その他」のいずれかを選択した人を「千葉市の魅力を人に伝えたことがある」としている。

魅力を伝えた方法は、令和 3 年度調査時と同様、「家族以外の知人・友人や近所の方などとの会話」、「家族との会話」の割合が高く、SNS やホームページ等での発信は低い割合にとどまっている。

図 15-2　千葉市の魅力を人に伝えた経験（発信方法）



	n=	家族以外の知人・友人や近所の方などとの会話	家族との会話	SNS（LINE、Facebook、Twitter、Instagram、YouTubeなど）	ご自身のホームページやブログ	その他	千葉市の魅力を人に伝えたことはない	無回答
R7	987	43.5	35.2	6.1	1.1	0.9	39.2	1.7
R3	866	46.1	40.1	8.4	1.4	1.0	36.8	1.6

「その他」の自由回答（主なもの）

- 写真や特産品などを親類に送る、ゴルフ仲間に観光スポット情報提供、千葉市に魅力など無い

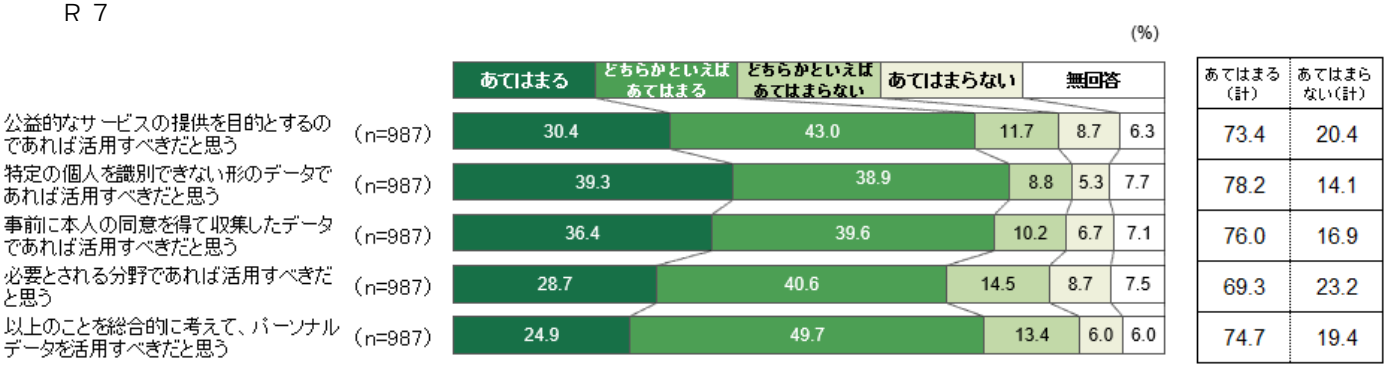
（5）「パーソナルデータ」の活用について

問 16　自治体や民間事業者等がパーソナルデータを活用することについてどう思いますか。あなたのお考えに最も近いものをお選びください。（単一回答）

総合的に考えてパーソナルデータを活用すべきに「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計は 75%となり、令和 3 年度調査時（75%）と同等であった。特定の条件下で活用すべきかどうかの設問についても、大きな差は見られなかった。

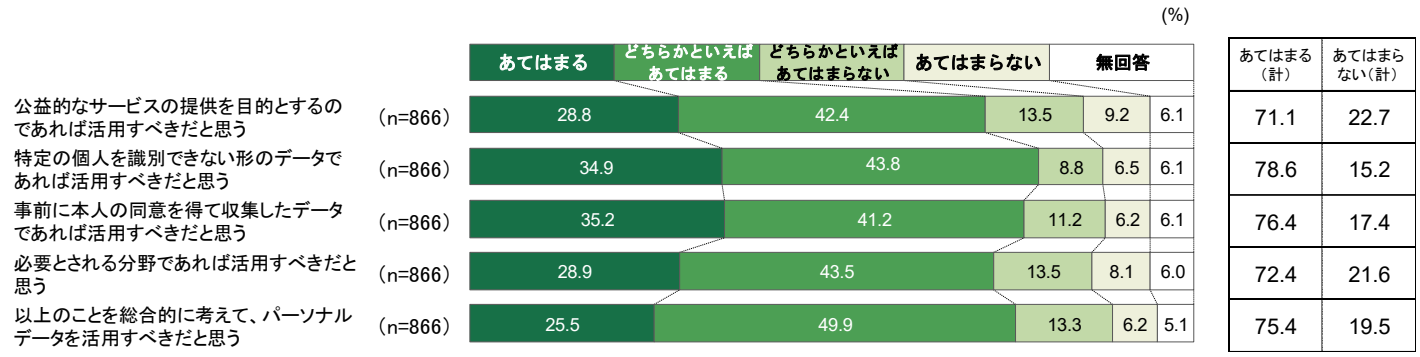
図 16　自治体や民間事業者等がパーソナルデータを活用することに対する意識

R 7



※「あてはまる（計）」…「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計
「あてはまらない（計）」…「あてはまらない」「どちらかといえばあてはまらない」の合計

R 3



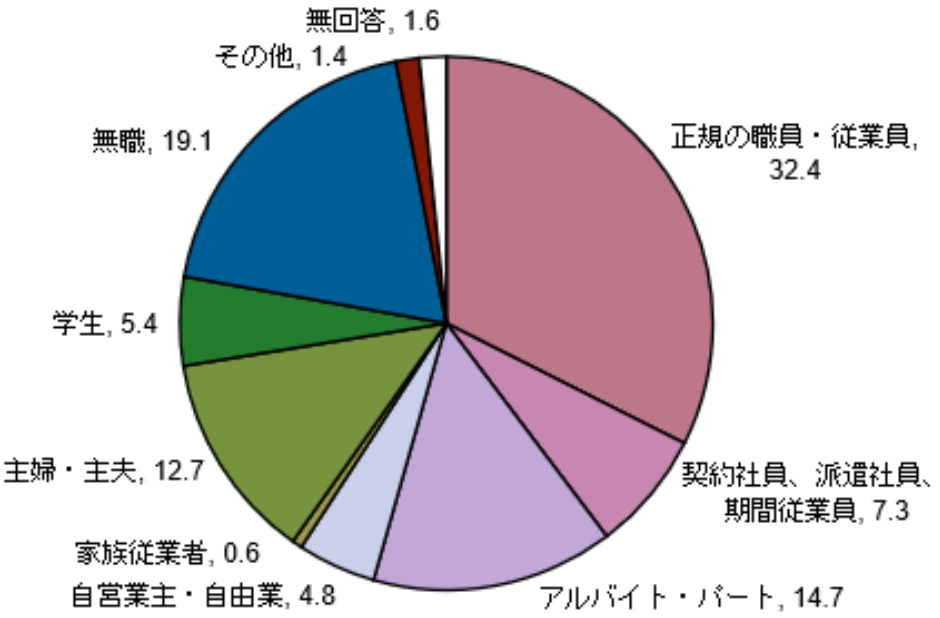
（6）働き方について

問 17　あなたの現在の職業をお選びください。どれに当てはまるかわからない場合には、「その他」の欄にお書きください。（単一回答）

正規の職員・従業員（役員を含む）」が 32%と最も高く、次いで「無職」が 19%となっている。今回と令和 3 年度調査時で、概ね同じ傾向となっている。

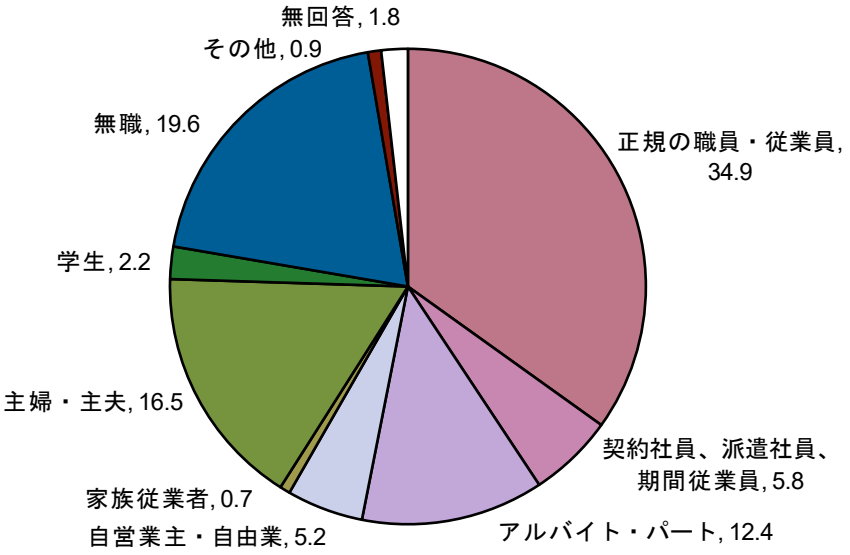
図 17　現在の職業

（R7、n=987）



R 3

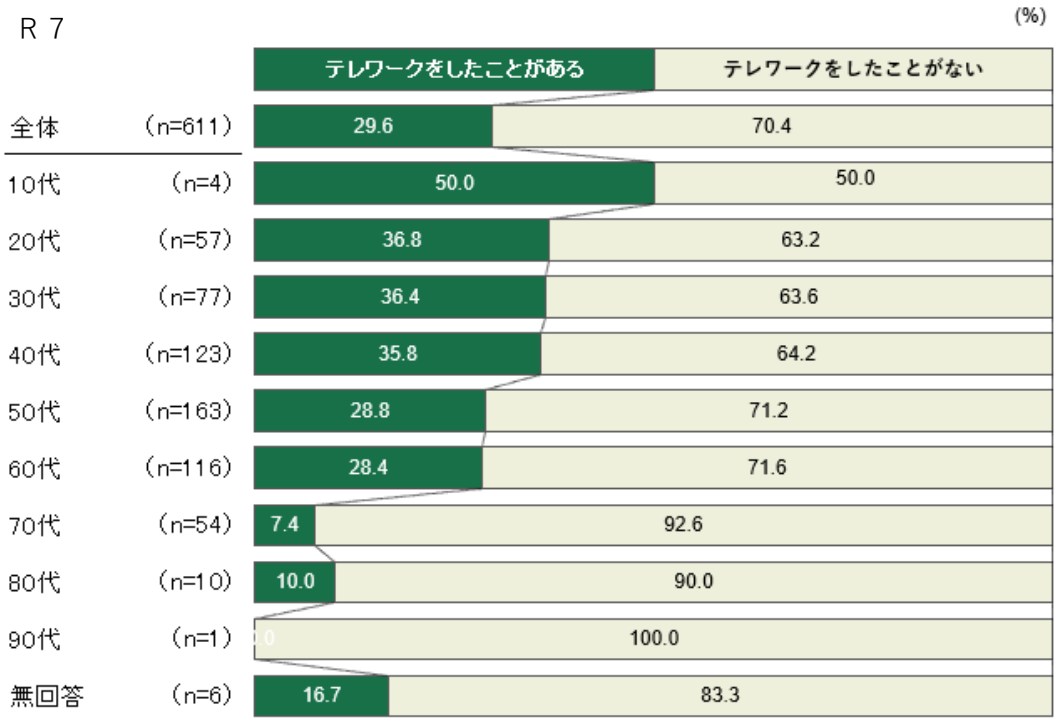
（R3、n=866）



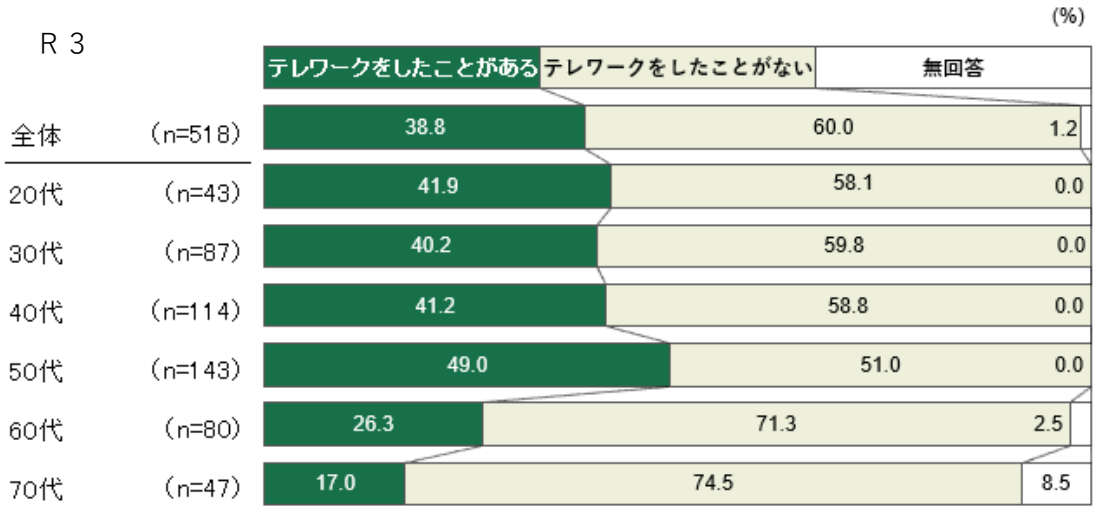
問 18　現在働いている方にうかがいます。あなたは過去 1 年間において、テレワークをしたことがありますか。（複数回答）

現在働いている人のうち、過去 1 年間でテレワークをしたことがあるのは 29%となっている。令和 3 年度調査時は、新型コロナウイルス感染予防のため、テレワークがより積極的に活用される社会情勢だったこともあり、今回は各年代とも「テレワークをしたことがある」の回答率が低下し、全体で約 10 ポイントの減少となった。

図 18-1　過去 1 年間におけるテレワーク経験



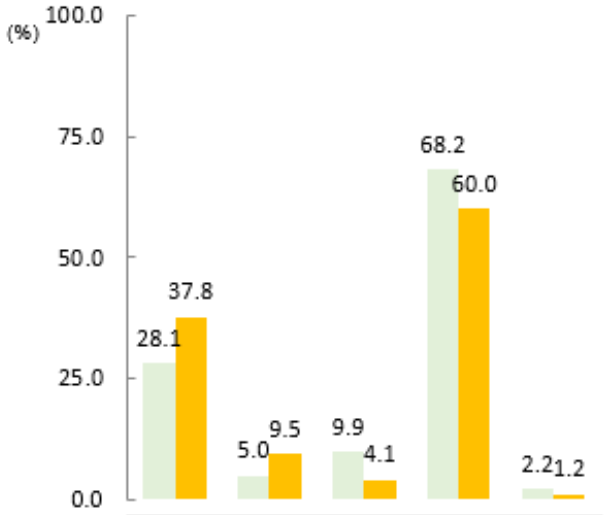
※回答対象者：問 17 で「主婦・主夫」「学生」「無職」以外のいずれかの選択者。
※「自宅でテレワークをしたことがある」「サテライトオフィスでテレワークをしたことがある」「外出先でテレワークをしたことがある」のいずれかを選択した人を「テレワークをしたことがある」としている。



テレワークの方法は「自宅」の次に「サテライトオフィス」が多い結果となり、令和３年度調査時に約 10%の回答があった「外出先」については、5%で最も低かった。

また、テレワーク経験がある人の割合がもっとも高いのは、「正規の職員・従業員」であった。

図 18-2　過去１年間におけるテレワーク経験（テレワークの方法）



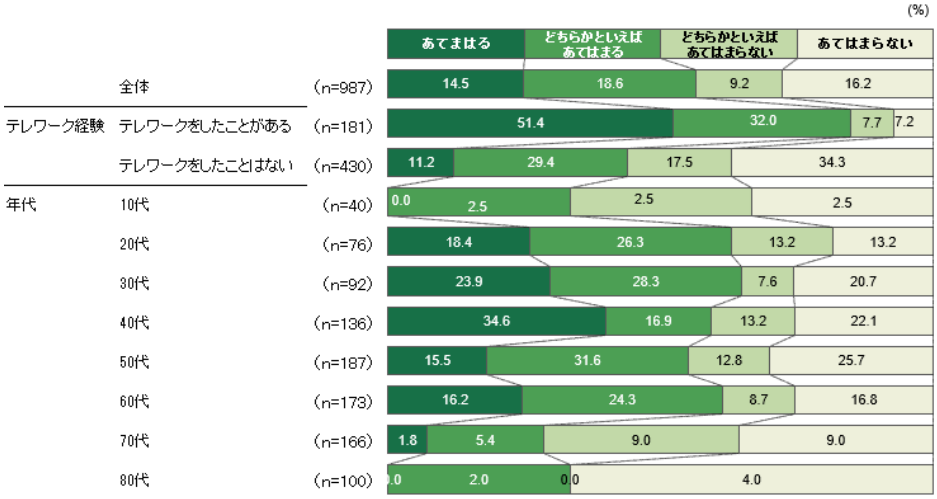
	n=	自宅でテレワークをしたことがある	外出先でテレワーク（モバイルワーク）をしたことがある	サテライトオフィスでテレワークをしたことがある	テレワークはしたことがない	無回答
R7	604	28.1	5.0	9.9	68.2	2.2
R3	518	37.8	9.5	4.1	60.0	1.2
正規の職員・従業員	320	20.9	4.0	7.9	30.6	0.2
契約社員、派遣社員、期間従業員	72	2.6	0.5	0.3	9.3	0.0
アルバイト・パート	145	1.2	0.0	0.3	22.7	0.2
自営業主・自由業	47	3.3	0.5	1.3	4.1	0.2
家族従業者	6	0.0	0.0	0.0	0.8	0.2
その他	14	0.2	0.0	0.0	0.7	1.5

問 19　現在働いている方にうかがいます。テレワークの導入などによって、労働環境が快適になっていると感じますか。あなたのお考えにもっとも近いものをお選びください。（単一回答）

全体では、令和 3 年度調査時と同様、「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計が、「あてはまらない」、「どちらかといえばあてはまらない」の合計を上回る結果となった。

テレワークの経験別に見ると、テレワーク経験者では「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計の割合が 80%を超えたのに対し、未経験者では「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計が半数以下にとどまり、「あてはまらない」、「どちらかといえばあてはまらない」の合計の割合が「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計を上回る結果となった。

図 19　テレワークの導入による労働環境への影響



			R3		R7		差	
			あてはまる(計)	あてはまらない(計)	あてはまる(計)	あてはまらない(計)	あてはまる(計)	あてはまらない(計)
全体		(n=987)	51.2	47.1	33.1	25.4	▲ 18.1	▲ 21.7
テレワーク経験	テレワークをしたことがある	(n=181)	73.6	26.4	83.4	14.9	9.8	▲ 11.5
	テレワークをしたことはない	(n=430)	37.3	60.8	40.6	51.7	3.3	▲ 9.1
年代	10代	(n=40)			2.5	5.0		
	20代	(n=76)	58.1	41.9	44.7	26.3	▲ 13.4	▲ 15.6
	30代	(n=92)	59.8	39.1	52.2	28.3	▲ 7.6	▲ 10.8
	40代	(n=136)	50.0	50.0	51.5	35.3	1.5	▲ 14.7
	50代	(n=187)	56.6	42.0	47.1	38.5	▲ 9.5	▲ 3.5
	60代	(n=173)	48.8	47.5	40.5	25.4	▲ 8.3	▲ 22.1
	70代	(n=166)	19.1	74.5	7.2	18.1	▲ 11.9	▲ 56.4
	80代	(n=100)			2.0	4.0		

※回答対象者：問 17 で「主婦・主夫」「学生」「無職」以外のいずれかの選択者。

※問 18 過去 1 年間におけるテレワーク経験の無回答、及び回答の少ない 10 代・80 代・年代無回答を除く。

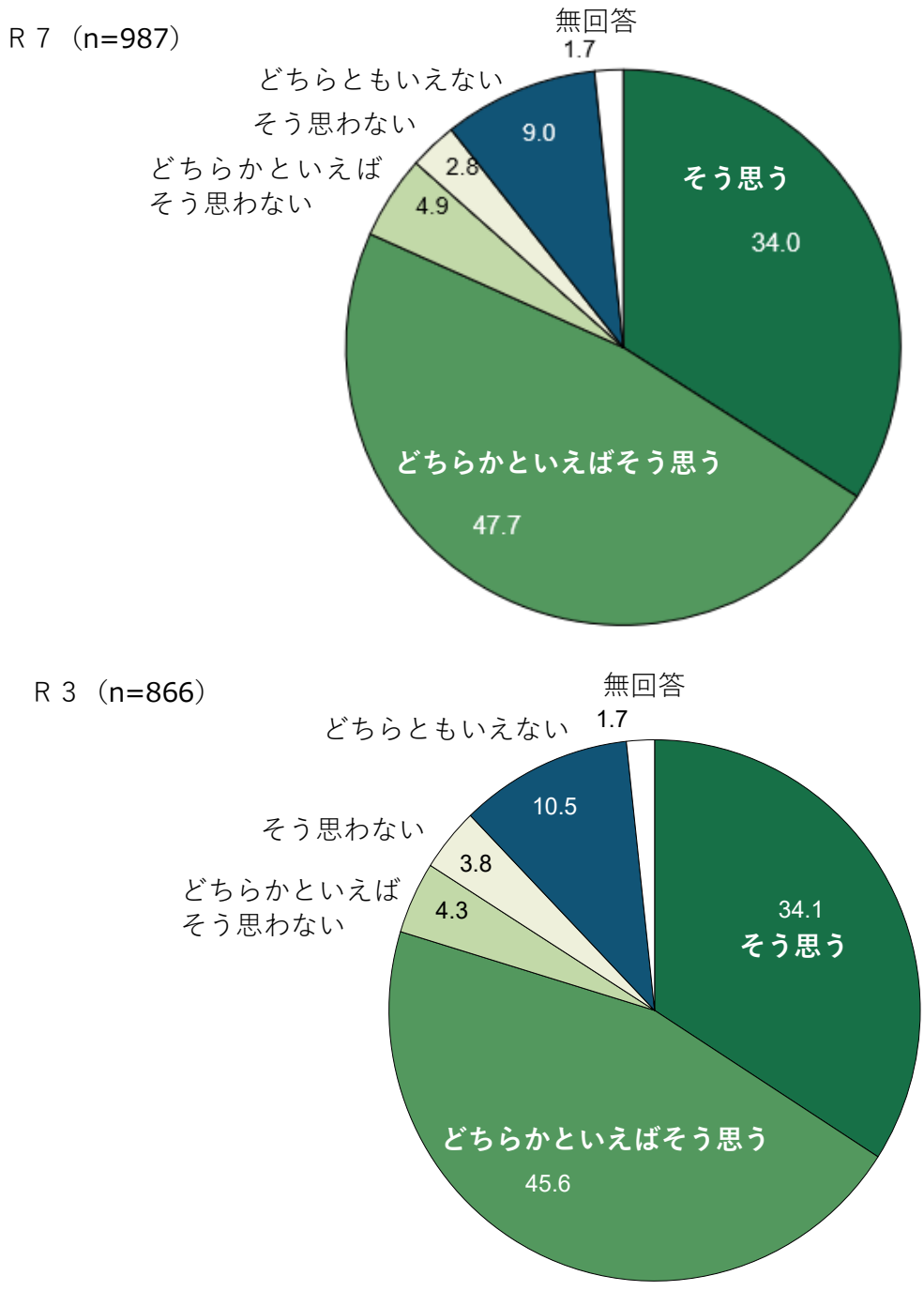
※「あてはまる（計）」…「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計
「あてはまらない（計）」…「あてはまらない」「どちらかといえばあてはまらない」の合計

（7）スマートシティを実現することの必要性について

問 20　千葉市では、行政だけではなく、全ての市民や民間事業者の皆さんなどと一体となって、スマートシティの実現を目指す必要があると考えています。あなたはスマートシティの実現を目指す必要があると思いますか。（単一回答）

「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の合計は 81%となり、令和 3 年度調査時（79%）と同水準であった。

図 20　スマートシティを実現することの必要性



3.　参考資料　調査票

千葉市スマートシティの推進に係る市民アンケート

「郵送(このアンケート票に記入して投かん)」 または 「オンライン」にてご回答ください。
※このアンケート票に記入して投かんいただいた場合は、オンラインでのご回答は不要です。

オンライン回答ページ

https://chiba.qkr.jp/Q/auto/ja/cbsmt/2025/

ログイン ID	パスワード
cs10000	fokakw

設問の回答のしかた（例）

問● あなたは○○についてどう思いますか **（１つだけ○）**

あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない
1	**2**	**3**

その他（　　）

数字に○をつける

○をつける数の指示
- **１つだけ○**
- **○はいくつでも**
- **それぞれ１つだけ○**
- **それぞれ○はいくつでも**

（　　）の中を自由にご記入ください。

ここから、アンケートの設問となります。

はじめに、あなたの性別と年齢をお答えください。

あなたの性別をお答えください。

1	男性
2	女性
3	その他

あなたの年齢をお答えください。

1	10 代	**4**	40 代	**7**	70 代
2	20 代	**5**	50 代	**8**	80 代
3	30 代	**6**	60 代	**9**	90 代以上

1.「スマートシティ」の認識と期待する分野について、うかがいます。

千葉市では、人口減少などの様々な課題に対し、テクノロジーの活用などにより市域全体の生活の質の向上を図り、地域とともに持続可能なまちづくりを進めるため、行政だけではなく、全ての市民や民間事業者の皆さんなどと一体となって「スマートシティ」の実現に向けた取組を進めていきます。

以下の【スマートシティとは】を読んで、つづく問１以降をお答えください。

【スマートシティとは】

スマートシティとは、ICT（情報通信技術）などのテクノロジーや各種のデータを活用したサービスの提供、各種分野におけるマネジメント（計画、整備、管理・運営等）の高度化等により、地域課題の解決と新たな価値の創出を続けることで、持続可能な社会をめざす都市や地域を示します。

問１　あなたはスマートシティという言葉を聞いたことがありますか。**（１つだけ○）**

１　聞いたことがあり、内容も知っていた
２　聞いたことはあるが、内容は知らなかった
３　聞いたことはない

問２　スマートシティに関して期待する分野は何ですか。**（○はいくつでも）**

１　**医療・ヘルスケア**（オンライン医療・医療データなどの活用）
２　**介護**（介護ロボットなど）
３　**子育て**（子どもの見守りサービスなど）
４　**エネルギー**（太陽光、風力など再生可能エネルギーの活用など）
５　**防災・減災**（水害・土砂災害などの各種ハザードマップなど）
６　**防犯・安心**（AI などを活用した、防犯カメラの活用など）
７　**交通・次世代交通サービス**（自動運転など）
８　**物流**（ドローンによる荷物配送など）
９　**農業・林業**（農業データの活用など）
10　**環境保全**（雨水等の貯蓄・活用など）
11　**教育**（オンライン授業・学習など）
12　**新産業創出**（新たな価値の創出）
13　**観光・商業**（人流データを活用した来訪者属性に応じた観光施策など）
14　**地域コミュニティ**（自治会活動の電子化や地域団体の連携推進）
15　**行政事務**（行政手続きのオンライン化など）
16　**その他**（　　）
17　**特になし**

2. インターネット・情報通信機器の利用状況について、うかがいます。

問３　あなたは過去１年間（2024 年 10 月～2025 年 9 月）に、インターネットを利用しましたか。

（１つだけ○）

※ここでのインターネット利用とは、E メールや LINE の利用、家電や家庭用ゲーム機でのインターネット接続機能の利用なども含みます。

1　はい　→問４へ	**2**　いいえ　→問６へ

問４　あなたのご家庭で保有している、情報通信機器及びその使用頻度についてお答えください。

※賃貸住宅などの、備え付けの家電を含みます。
※家族で共通の 1 台を使用している方は、あなたご自身の使用頻度をお選びください。

（それぞれ１つだけ○）

	持っている					持っていない
	ほぼ毎日	週に数回	月に数回	年に数回	ほとんど使っていない	
固定電話・FAX	1	2	3	4	5	6
携帯電話・PHS（スマートフォンを除く）	1	2	3	4	5	6
スマートフォン	1	2	3	4	5	6
パソコン	1	2	3	4	5	6
タブレット型端末（iPad 等）	1	2	3	4	5	6
ウェアラブル端末（スマートウォッチ等）	1	2	3	4	5	6
テレビ※（インターネット接続できるもの）	1	2	3	4	5	6
インターネットに接続できる携帯型音楽プレイヤー	1	2	3	4	5	6
インターネットに接続できる家電（エアコン、冷蔵庫など）	1	2	3	4	5	6
インターネットに接続できるゲーム（Nintendo Switch など）	1	2	3	4	5	6
その他（　　）	1	2	3	4	5	6

1・2・3 →問５へ
4・5 →問６へ
6 →問７へ

※「テレビ」は、テレビをインターネットに直接接続する場合のほか、レコーダーなどを介してテレビ画面でインターネットを利用する場合を含みます。

問４のスマートフォン・パソコン・タブレット型端末のいずれかで、「１ ほぼ毎日」「２ 週に数回」「３ 月に数回」使用したとお答えの方に、うかがいます。

問５ あなたが過去１年間（2024 年 10 月～2025 年 9 月）に利用したインターネットの機能・サービスをお選びください。**（○はいくつでも）**

１	**ホームページやブログの閲覧、書き込み**
２	**E メールの利用**
３	**LINE の利用**
４	**SNS の利用**（X、Facebook、Instagram など）
５	**オンライン会議システムの利用**（Zoom、Microsoft Teams など）
６	**動画投稿・共有サイトの利用**（YouTube など）
７	**オンラインゲームの利用**
８	**情報検索**（天気情報、ニュースサイト、地図・交通情報などの利用）
９	**オンライン学習**（学校の補講や演習の課題実施、語学レッスンなど）
10	**オンライン診療やオンライン服薬指導**
11	**キャッシュレス決済**（○○ペイ、クレジットカード、交通系電子マネーなど）
12	**インターネットショッピングの利用**（Amazon、楽天市場など）
13	**インターネットオークション・フリーマーケットアプリによる購入・取引**
14	**動画視聴（Netflix、Amazon プライムなど）**
15	**その他（　　）**

問４のスマートフォン・パソコン・タブレット型端末のいずれかで、「４ 年に数回」「５ ほとんど使っていない」とお答えの方、及び、問２で過去１年間にインターネットを使っていないとお答えの方に、うかがいます。

問６ あなたがインターネットをあまり利用していない理由をお選びください。**（○はいくつでも）**

１	**どのように使えばよいかわからないから**
２	**以前使おうとした、もしくは使ってみたことがあるが、うまく使えなかったから**
３	**情報漏洩や詐欺被害等のトラブルに遭うのではないかと不安だから**
４	**購入や利用にかかる料金が高いと感じるから**
５	**自分の生活には必要ないと思っているから**
６	**必要があれば家族に任せればよいと思っているから**
７	**周囲に相談できる人がいないから**
８	**家族と機器を共有しているなど、自分で自由に使えないから**
９	**職場や学校だけでの利用など、自宅では利用できない・自宅で利用する必要がないから**
10	**機能があることは知っているが、使う機会がなかったから**
11	**その他（　　）**

3. ICT（情報通信技術）の普及による、現在の生活への影響について、うかがいます。

千葉市では、市民生活の利便性を向上させるため、ICT（情報通信技術）を活用した取組を推進しています。

問７ ICT（情報通信技術）の普及は、現在の生活にどのような影響を与えていると感じますか。あなたのお考えに最も近いものをお選びください。 **（それぞれ１つだけ○）**

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
(1)現在の生活を便利にしている・快適にしている	**1**	**2**	**3**	**4**
(2)現在の生活に新たなリスクを生み出している	**1**	**2**	**3**	**4**

問８ 問５でオンライン学習を利用したことがあるとお答えの方にうかがいます。
オンライン学習の導入により、学習環境が快適になっていると感じますか。あなたのお考えにもっとも近いものをお選びください。 **（１つだけ○）**

1 あてまはる
2 どちらかといえばあてはまる
3 どちらかといえばあてはまらない
4 あてはまらない

問９ ICT（情報通信技術）などのテクノロジーを活用した、環境保全に関する取組について、あなたが現在行っているものをお選びください。 **（○はいくつでも）**

1 冷蔵庫、エアコン、照明器具などの家電製品を購入する際に、省エネルギー効果の高い製品を購入
2 部屋の温度を快適に保つ高断熱などの省エネ住宅への居住、又はリフォームの施工
3 太陽光発電パネルの設置による自家発電、又は自宅の電気を再生可能エネルギーに切替え
4 電気自動車などのエコカーの選択やゆっくり加速・減速などのエコドライブの実践
5 カーシェア、シェアサイクルなど環境負荷が少ない移動手段の活用
6 その他（　　）
7 現在は取り組んでいない

問 10 あなたは千葉市からの防犯・防災に関する情報をどのような方法で受け取っていますか。

（○はいくつでも）

1	**ラジオやテレビ**（ケーブルテレビを含む）
2	**防災行政無線**（公園などに設置したスピーカー）
3	**ちばし安全・安心メール**
4	**携帯電話・スマートフォンのエリアメール・緊急速報メール**
5	**防災アプリ**（Yahoo!防災速報など）
6	**学校家庭間連絡ツール**（「すぐーる」）
7	**千葉市ホームページ**
8	**市以外のホームページ**
9	**千葉市や千葉市長からの SNS 発信**（X、Facebook、LINE など）
10	**市や市長から以外の SNS 情報**（X、Facebook、LINE など）
11	**市政だより**
12	**町内自治会や自主防災組織からの連絡**
13	**近所の方や知人からの情報**
14	**その他**（　　）
15	**情報を受け取ったことがない**

問 11 千葉市からの防犯・防災に関する情報発信について満足していますか。あなたのお考えにもっとも近いものをお選びください。**（１つだけ○）**

1	**満足している**
2	**どちらかといえば満足している**
3	**どちらかといえば満足していない**
4	**満足していない**

問 12　千葉市で実施しているオンラインサービスについて、あてはまるものをお選びください。

（それぞれ○はいくつでも）

※(2)は(1)で選択したもののみ回答してください。

	(1) あなたがご存知のもの	(2) (1)で選んだうち、利用したことがあるもの
マイナンバーカードを活用した住民票等のコンビニ交付	1	1
ちばレポ	2	2
あなたが使える制度お知らせサービス ～For You～	3	3
公共施設のインターネット予約・申請	4	4
行政手続きのインターネット申請	5	5
図書館蔵書のインターネット検索・予約	6	6
粗大ごみのインターネット受付	7	7
電子入札	8	8
インターネットによる市税の電子申告（eLTAX）	9	9
シェアサイクル	10	10
その他 （　　）	11	11
あてはまるものはない	12	12

4. 千葉市の魅力について、うかがいます。

千葉市では、人が集まり、にぎわいがあるまちをつくるために、各地域の魅力向上や地域経済の活性化などを推進しています。

問 13 あなたは千葉市の魅力（お出かけ情報やまちの話題など）に関する情報をどのような方法で受け取っていますか。**（○はいくつでも）**

【千葉市からの発信】

1 市政だよりや千葉市観光協会のガイドブックなどの紙媒体
2 千葉市・千葉市観光協会ホームページ
3 千葉市や千葉市長からの SNS 発信（X、Facebook など）

【千葉市以外からの発信】

4 新聞や雑誌などの紙媒体
5 ラジオやテレビ（ケーブルテレビを含む）
6 商業施設などのインターネット上の情報（ホームページや SNS など）
7 個人からのインターネット上の発信（ブログ、SNS など）
8 知人・友人や近所の方からの情報
9 その他（　　）
10 千葉市の魅力を受け取っていない

問 14 千葉市の魅力に関して、千葉市や千葉市以外からの情報発信について満足していますか。あなたのお考えにもっとも近いものをお選びください。**（１つだけ○）**

1 満足している
2 どちらかといえば満足している
3 どちらかといえば満足していない
4 満足していない

問 15 千葉市の魅力を人に伝えたことがありますか。あなたが伝えたことのある方法をお選びください。**（○はいくつでも）**

1 家族との会話
2 家族以外の知人・友人や近所の方などとの会話
3 ご自身のホームページやブログ
4 SNS（LINE、X、Facebook、Instagram、YouTube など）
5 その他（　　）
6 千葉市の魅力を人に伝えたことはない

5.「パーソナルデータ」の活用について、うかがいます。

快適で利便性の高いサービスを提供するためには、「パーソナルデータ」を活用する場合があります。以下の【パーソナルデータとは】を読んで、つづく設問にお答えください。

【パーソナルデータとは】

「個人に関する情報」のことを指し、氏名などの個人情報のほか、特定の個人を識別できないように加工された移動情報や商品情報等も含まれます。

問 16 自治体や民間事業者等がパーソナルデータを活用することについてどう思いますか。あなたのお考えに最も近いものをお選びください。**（それぞれ１つだけ○）**

（例：位置情報、購買情報など）

		あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
(1)	公益的なサービスの提供を目的とするのであれば活用すべきだと思う	1	2	3	4
(2)	特定の個人を識別できない形のデータであれば活用すべきだと思う	1	2	3	4
(3)	事前に本人の同意を得て収集したデータであれば活用すべきだと思う	1	2	3	4
(4)	必要とされる分野であれば活用すべきだと思う	1	2	3	4
(5)	以上のことを総合的に考えて、パーソナルデータを活用すべきだと思う	1	2	3	4

6．働き方について、うかがいます。

新型コロナウイルス感染症などを契機に、多様な働き方が浸透してきています。

問 17 あなたの現在の職業をお選びください。どれに当てはまるかわからない場合には、「その他」の欄にお書きください。**（１つだけ○）**

1 正規の職員・従業員（役員を含む）
2 契約社員、派遣社員、期間従業員
3 アルバイト・パート
4 自営業主・自由業（自分で、または共同で事業を営んでいる）
5 家族従業者（家族が営んでいる事業を手伝っている）
6 主婦・主夫
7 学生
8 無職
→ **問 20 へ**
9 その他（　　）

問 18 現在働いている方にうかがいます。あなたは過去１年間（2024 年 10 月～2025 年 9 月）において、テレワーク※1をしたことがありますか。**（○はいくつでも）**

1 自宅でテレワークをしたことがある
2 サテライトオフィス※2でテレワークをしたことがある
3 外出先でテレワーク（モバイルワーク※3）をしたことがある
4 テレワークはしたことがない

※１「テレワーク」とは、ICT（情報通信技術）を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方です。
※２「サテライトオフィス」とは、本来の勤務地とは別の場所にあるオフィススペースなどです。
※３「モバイルワーク」とは、営業活動など外出中に作業することをいいます。

問 19 現在働いている方にうかがいます。テレワークの導入などによって、労働環境が快適になっていると感じますか。あなたのお考えにもっとも近いものをお選びください。**（１つだけ○）**

1 あてまはる
2 どちらかといえばあてはまる
3 どちらかといえばあてはまらない
4 あてはまらない

7. 最後に、スマートシティを実現することの必要性について、うかがいます。

問 20 千葉市では、行政だけではなく、全ての市民や民間事業者の皆さんなどと一体となって、スマートシティの実現を目指す必要があると考えています。

あなたはスマートシティの実現を目指す必要があると思いますか。**（１つだけ○）**

1 そう思う
2 どちらかといえばそう思う
3 どちらかといえばそう思わない
4 そう思わない
5 どちらともいえない

「暮らしやすさ」と「幸福感」に関する「千葉市令和 7 年度版ウェルビーイング指標アンケート」にもご協力ください！

スマートシティの推進に係るアンケートとは別に、今の千葉市がどのように見えているかのアンケートを実施中です。市民の皆様がご自身に最適な暮らしを実感しながら、「ここちよく・ちょうどいい」と感じられるまちづくりに取り組むための手がかりとして、ご協力をお願いいたします。

お忙しいところ、アンケートにご協力くださいまして誠にありがとうございました。